

中部地域公設試験研究機関 活用ガイド2025～2026

現場での小さな困りごとから、
製品開発、補助金獲得、新技術のご相談など

まずは『公設試』にご相談ください。

産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会

『公設試』は、地域に根差したものづくりのホームドクターです。技術で困った、知りたい、調べたいことなどありましたらお気軽にご相談ください。

解決策を考えましょう！

産業技術連携推進会議（産技連）東海・北陸地域部会

「公設試」ってなに？

「公設試」の正式名称は公設試験研究機関といいます。地方公共団体が設置した試験所、研究所などの機関です。鉱工業や農林水産業の振興、あるいは環境保全、保健衛生の向上といった行政目的に沿う試験・研究・高度な機器の使用・指導・相談等の業務を行っています。この冊子では東海・北陸地域部会所属の公設試と産技連の活動について紹介します。



目次

「公設試」ってなに？	1
公設試の利用方法	2
主な支援メニュー	3

■公設試の紹介■

愛知県	5
名古屋市	13
岐阜県	15
瑞浪市	23
多治見市	25
三重県	27
静岡県	29
長野県	31
富山県	33
石川県	35
福井県	37



Q 機密事項を扱う研究なので、情報漏えいが心配です…

A 公設試では情報漏洩を防ぐためのルールを設けて、企業様の秘密を厳守します。

公務員としての守秘義務を順守します。ご相談内容については、関係者限りにて取り扱いします。文書やメールなどの情報管理、セキュリティ管理にも細心の注意を払っております。

■産技連の活動■

東海・北陸地域部会	39
・ 機械・金属分科会	
・ 炭素繊維複合材量高度利活用技術研究会	
・ 情報・電子デバイス分科会	
・ セラミックス分科会	
産総研中部センター	45
産総研北陸デジタルものづくりセンター	47
産技連（全国）事務局	
企画本部地域部地域戦略企室	49
・ 産総研コンソーシアム	
事業紹介：名古屋工業技術協会	50

■機器・設備の検索システム■

…	51
■中部地域公設試験研究機関リスト■	
…	52

公設試の利用方法

1. まずは. . .

初めての方は、お近くの公設試にコンタクトしてください。コンタクトの方法は電話、ウェブサイトからのフォーム入力やEメールなどがご利用いただけます。



2. 技術相談

電話（あるいは来場）いただきますと、窓口担当者が相談内容などを丁寧に伺います。それぞれの専門研究員に繋いだり、支援メニューを紹介させていただきます。フォーム入力やEメールでも同様に対応いたします。相談は無料で、秘密事項は厳守いたします。



3. 主な支援メニュー（有料）

公設試では次のような支援メニューを提供しております。

機器・設備利用

機器・設備を開放しています。試作、測定、分析にお役立てください。必要であれば職員がサポートします。

依頼試験・分析

依頼に基づき、分析・測定・評価・加工・鑑定等を行います。

共同・受託研究

企業の応用開発や試作・製品化の支援を行います。

Q

どこに相談をすれば良いか
わからないのですが…

A

お近くの公設試または産
総研にご相談ください！

公設試と産総研は「産業技術連携推進会議」という枠組みで連携しています。また、大学や各地のよろず相談窓口などの支援機関とも連携をとっています。ご相談いただいた機関で解決できない場合でも、より適切な機関を紹介し、解決に向けてサポートします。



4. その他の支援サービス

公設試では皆さんのお役に立てるよう、人材育成、情報提供等の活動も実施しています。



主な支援メニューの紹介は次ページにて

主な支援メニュー

機器・設備利用

公設試は分析・測定・試験・試作・加工に対応できる機器・設備を多数保有しており、企業の皆様に開放しております。ぜひご利用ください。商品クレームの原因究明で利用されていたところ、新商品の開発に発展したというケースもあります。機器等の操作方法、取得したデータの解釈など、専門研究員がしっかりサポートします。初めての方でも安心してご利用いただけます。また、データを考察し、今後の展開についてアドバイスいたします。

操作の難しい機器の中には事前研修（有料）を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。



依頼試験・分析

研究開発や品質管理、不良品の原因究明などに依頼試験・分析をご利用ください。

企業の皆様の依頼に基づいて、原材料や製品の品質確認、生産工程でのトラブル対策などに必要な分析・測定・加工等各種試験を行います。各種試験等はあらかじめ決められた方法で実施します。ご要望に応じて測定条件を変更することも可能です。試験結果をまとめた報告書・成績書等を発行いたします。

Q 依頼分析・試験の結果の見方を教えてほしいのですが・・・

A 職員が丁寧に説明させていただきます。

分析や試験の結果をお渡しする際には、結果の見方について説明させていただきます。疑問点など質問がありましたら、丁寧に回答いたします。

共同研究・受託研究

企業の応用開発や試作・製品化を支援するため、公設試の研究成果を積極的に公表し、企業への普及や技術移転に努めています。

【共同研究】

ものづくりに直結する応用開発や試作・製品化のための研究を企業の皆様と共同で行います。

【受託研究】

新製品開発や製品の性能向上に向けた技術課題を、研究員が専門知識やノウハウ及び機器・設備を活かして解決します。

Q 研究開発を行いたいのですが、相談に乗っていただけますか？

A 協力できる内容なら喜んで！まずはご相談ください。

研究開発を始める前に、面談させていただき、課題の整理、開発の方向性などを共有いたします。連携可能なテーマであると合意できたら、各種の支援メニューを活用して協力させていただきます。また、補助金等の活用についても是非ご相談ください。

公設試では様々な支援サービスを行っています。地域や機関によって特色があるので、詳しくは公設試のホームページ等をご確認ください。

人材育成

●技術講習会・技術セミナー各種

スキルアップにつながる講習会・セミナー等を多数開催しています。保有機器・設備の使用方法に関する技術講習会、公設試が行っている研究と関連した技術セミナー等、専門研究員が分かりやすく技術を紹介いたします。質問しやすい少人数制のセミナーも開催しています。

●研究会

研究会を組織し、人的ネットワークづくりや産官学連携を支援しています。

●研修制度

企業で研究開発に携わる技術者の養成を目的としています。公設試の設備を用いた実習が中心です。



詳細は各機関のホームページにてご確認ください。

情報提供

●情報発信

公設試の研究成果を発表するシーズ（技術）発表会の開催、刊行物等発行、インターネットを活用した情報発信を行っています。新たな事業展開につながるヒント・アイデアのための情報収集にご活用ください。

●施設見学会

公設試の様々な機器・設備等の施設見学会を開催しています。



Q

新しい技術・専門的な技術について知りたいのですが・・・

A

各種、研究会・セミナーを開催し技術情報の普及に努めています。

公設試では、ホームページで各種の研究会・セミナー情報を提供しています。ほとんどのセミナーが無料で受講いただけます。また、技術の習得に向けて研究生の受入制度も用意しています。メールマガジンを配信しているところもあります。





あいち産業科学技術総合センター 本部

「知の拠点あいち*」 高付加価値のモノづくりを支援する研究開発の拠点 高度な研究開発環境を提供

- 産学行政の連携による共同研究開発から、企業の研究開発・計測分析支援、中小企業の技術的課題の解決までを担う総合的技術支援機関です。
 - ▶ 「知の拠点あいち」の中核施設として、産学行政の連携による共同研究プロジェクト等を支援します。
 - ▶ 高度なラボ用計測分析機器による分析・評価などにより企業の研究開発を支援します。
- 当センターに隣接して、太陽光の100万倍の明るさを持ち、ナノレベルで物質の組成等を解析できる「あいちシンクロトロン光センター」を(公財)科学技術交流財団が整備・運営しています。



高度計測分析機器/試作・評価装置の紹介

目的	主な装置名
観察する	■ 透過電子顕微鏡 ■ 集束イオンビーム加工観察装置 ■ 走査電子顕微鏡 ■ 走査プローブ顕微鏡
表面を調べる	■ X線光電子分光装置 ■ 飛行時間型2次イオン質量分析装置 ■ オージェ電子分光装置
構造を調べる	■ X線回折装置 ■ 高分解能3次元X線顕微鏡 ■ マイクロフォーカスX線CT
成分を調べる	■ 蛍光X線分析装置 ■ 誘導結合プラズマ発光分析装置 ■ 電子プローブマイクロアナライザ ■ 高感度無機ガス分析装置 ■ 2次元ガスクロマトグラフ飛行時間型質量分析装置 ■ 液体クロマトグラフ質量分析装置
化学構造を調べる	■ 核磁気共鳴装置 ■ マトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析装置
電磁環境の影響を調べる	■ 電波暗室 ■ EMC試験装置
試作を支援する	■ 3Dプリンター ■ フルカラー積層造形装置 ■ レーザー粉末焼結造形装置

重点研究プロジェクト

- 大学等の研究シーズを活用して県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新産業の創出を促進する産学行政連携の研究開発プロジェクト

あいちシンクロトロン光センター

- 産業界のニーズが高い硬X線領域に対応
- エネルギー領域の異なる5本のXAFS(X線吸収微細構造)ビームラインにより、ほとんどの元素に対応
- 使いやすい装置設計、材料の実使用環境を再現できる実験設備
- 高性能なX線CTビームラインを整備

知の拠点あいち実証研究エリア

- 次世代成長分野等の実証研究を促進するため、研究開発拠点として愛知県が整備
- 実証研究の場を無償で提供することで、企業の取組を支援
- 対象分野：次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギー、健康長寿、情報通信・DX、ロボット等の分野、当センターが支援する分野

知の拠点あいちに関する情報は、インターネットで「知の拠点あいち」をキーワードに検索して下さい。



【公共交通機関をご利用の場合】

リニモ「陶磁資料館南駅」下車徒歩1分
(名古屋駅から約50分)

【自動車をご利用の場合】

名古屋瀬戸道路長久手ICから東へ約3km
猿投グリーンロード八草ICから西へ約800m

〒470-0356

豊田市八草町秋合1267-1

TEL 0561-76-8301 FAX 0561-76-8304

URL <https://www.aichi-inst.jp/>

*「知の拠点あいち」はあいち産業科学技術総合センター本部とあいちシンクロトロン光センター等からなる施設の総称です



あいち産業科学技術総合センター 瀬戸窯業試験場



「せともの」に代表される和・洋食器やノベルティ等の窯業業界の技術支援機関として、製品のデザイン・生産技術の開発を行っています。また、ファインセラミックスの研究開発にも取り組んでいます。

セラミックス技術

- 原材料の開発研究・技術支援、セラミックス新素材及び新技術の研究開発・技術支援
- 依頼試験（物性試験、材料試験、成分分析等）



低温型遠赤外線セラミックヒーター



炭素化チタンサーメット



酸素雰囲気炉

製品開発室

- 窯業製品の製造技術及びデザイン、加飾技術の試験研究・技術支援
- 依頼試験（耐火度、デザイン等）



伝統的加飾技法「凸盛り」 精良テストピース・データベースを活用した開発例



精良テストピース・データベース

■ 交通アクセス ■



【公共交通機関をご利用の場合】

リニモ「陶磁資料館南駅」下車徒歩1分
(名古屋駅から約50分)

【自動車をご利用の場合】

名古屋瀬戸道路長久手ICから東へ約3km
猿投グリーンロード八草ICから西へ約800m
〒470-0356
豊田市八草町秋合1267-1
TEL 0561-21-2116 FAX 0561-21-2128
URL <https://www.aichi-inst.jp/seto/>

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

産業技術センター



産業技術センターは、製造業の盛んな本県において、機械、金属、プラスチック、木材等幅広い業界を対象として、工業技術分野の技術支援を行っています。研究開発成果や技術の普及に努めるとともに、地域企業の方々への技術相談、技術情報の提供に取り組んでいます。

総合技術支援・人材育成室

- 地域企業の技術開発・製品開発の総合相談窓口
- 各技術センターが持つ技術シーズ等の普及、技術情報の提供
- 中小企業の人材育成支援



化学材料室

- プラスチック、ゴム、セラミックス等に関する技術相談・指導
- 依頼試験（材料強度試験、耐候性試験、成分分析等）
- 有機・無機化学材料の開発、分析技術に関する研究
- 燃料電池を始めとした次世代電池部品の開発・評価



0566-45-5641
(燃料電池)
0566-45-5642
(無機分析)
0566-45-5643
(高分子)

金属材料室

- 鋳造、塑性加工、接合、熱処理、めっき、腐食に関する技術相談・指導・研究
- 依頼試験（各種強度試験、硬さ試験、金属組織・破面観察、耐食性試験等）
- 金属加工CAE、サーボプレス、FSW等 機器利用



0566-45-5644
(金属加工)
0566-45-5645
(金属表面加工)

環境材料室

- 環境材料分野、包装技術、木材加工技術に関する技術相談・指導
- 依頼試験（振動試験、圧縮試験、衝撃（落下）試験、製品強度試験、耐燃焼性試験、成分分析、微生物試験等）
- 環境負荷低減に配慮した技術、セルロースナノファイバーに関する研究



0566-45-6901
(バイオ)
0566-45-6902
(物流技術)
0566-45-6903
(木材加工)

自動車・機械技術室

- 機械加工、精密測定、電気・電子技術に関する技術相談・指導・研究
- 依頼試験（精密測定、切削加工試験、EMC試験、環境試験等）
- 3D-CAD研修、ロボットのリスクアセスメントに関する技術相談



0566-45-6904
(機械技術)
0566-45-6905
(自動車)

■ 交通アクセス ■



名鉄「一ツ木」駅より徒歩10分

名鉄「知立」駅よりタクシー10分

JR「刈谷」駅よりタクシー12分

駐車場: 約150台収容(無料)

〒 448-0013

刈谷市恩田町1丁目157番地1

TEL: 0566-24-1841

FAX: 0566-22-8033

HP: <https://www.aichi-inst.jp/sangyou/>

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 常滑窯業試験場



常滑窯業試験場では、地域企業の皆様の技術開発・製品開発や製造現場における技術上の問題、不良品発生の原因究明などについて研究職員が相談、指導に応じています。また、製品の品質管理、製品開発に役立てるため、企業の方からの依頼により、各種の材料・製品の試験、分析、測定等の依頼試験や機器貸付を行っています。

材料開発室

- 原材料の試験研究及び技術支援
- 窯業製品の製造技術の試験研究・技術支援
- セラミックス材料の試験研究及び技術支援



高温用水素工業炉



原材料の蛍光エックス線分析



セラミック等の分光放射率測定



建築用外壁材料などの耐久性試験

■ 交通アクセス ■



名鉄「常滑」駅より
知多バス「知多半田駅」ゆき
「窯業センター前」下車徒歩7分

駐車場:有(無料)

〒 479-0021
常滑市大曾町4丁目50番地
TEL: 0569-35-5151
FAX: 0569-34-8196
HP: <http://www.aichi-inst.jp/tokoname/>

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 三河窯業試験場



三河窯業試験場は、碧南・高浜地域を中心とした粘土瓦、れんが、植木鉢などの窯業製品を製造する企業を対象とした技術支援機関です。企業の技術開発・製品開発や製造現場における技術上の問題、不良品発生の原因究明などについて研究職員が相談、指導に応じています。また、製品の品質管理、製品開発に役立てるため、企業からの依頼により、各種の材料・製品の試験、分析、測定等の依頼試験や機器貸付を行っています。

- 粘土瓦、れんが、植木鉢などの原材料、製造技術、新製品開発に関する試験研究、技術指導
- 依頼試験（原料の化学分析、粘土瓦の品質試験及び施工性能試験、れんがの品質試験等）

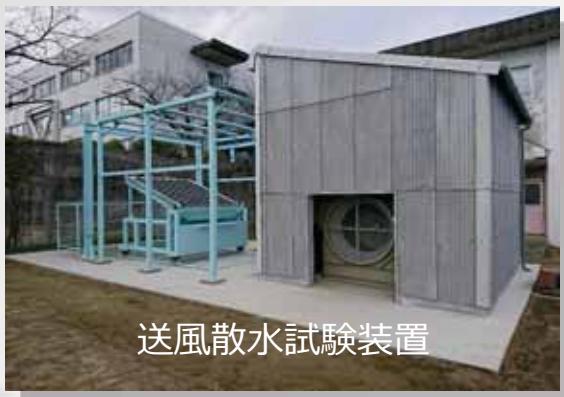
主な設備



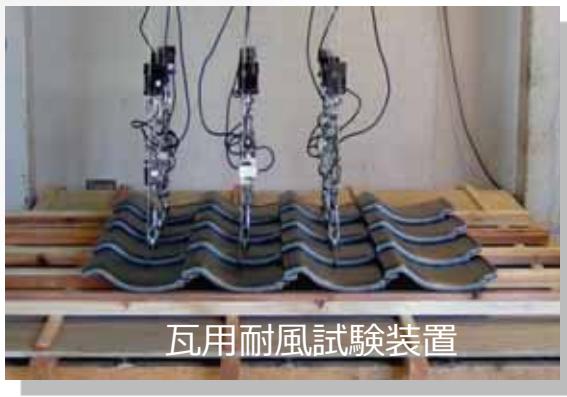
レーザー回折・散乱法
粒子径分布測定装置



蛍光X線分析装置



送風散水試験装置



瓦用耐風試験装置

■ 交通アクセス ■



あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター



食品工業技術センターは、県内食品業界の技術支援機関として、製品の高品質化・製造工程の効率化のための研究開発、新素材・新製品の開発に取り組んでいます。また、バイオテクノロジー、殺菌・保存技術等の先端・先進技術の開発・研究にも取り組んでいます。

発酵バイオ技術室

(TEL 052-325-8092)

- 酒類の試験研究・技術支援
- 発酵調味食品の試験研究・技術支援
- 微生物等の高度利用の試験研究・技術支援
- バイオ技術を利用した食品の試験研究・技術支援
- 依頼試験（微生物の同定、微生物試験、食品異物、栄養成分、その他の試験）



分析加工技術室

(TEL 052-325-8093)

- 菓子及びパンの試験研究・技術支援
- 清涼飲料の試験研究・技術支援
- 機器分析並びに機器分析法の試験研究・技術支援
- 依頼試験（栄養成分、食品異物、微生物試験、官能検査、物性試験、機器分析、その他の試験）

保藏包装技術室

(TEL 052-325-8094)

- 農産加工食品の試験研究・技術支援
- 畜水産加工食品の試験研究・技術支援
- 食品の包装資材の試験研究・技術支援
- 依頼試験（栄養成分、食品異物、微生物試験、官能検査、包装材料、物性試験、その他の試験）
- 企画業務



■ 交通アクセス ■



- ・地下鉄「庄内通」駅より徒歩12分
- ・市バス「上堀越町」下車徒歩3分
- ・JR・名鉄「名古屋」駅よりタクシー約20分

駐車場：51台収容（無料）

〒451-0083

名古屋市西区新福寺町2丁目1番の1

TEL 052-325-8091（総務課）

FAX 052-532-5791

HP <http://www.aichi-inst.jp/shokuhin/>

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター



尾張繊維技術センターは、毛織物を中心とする尾州産地の一宮市に立地し、繊維関連産業の技術支援を実施しています。最近では、スマート・テキスタイルの開発、AI・IoT関連技術の活用に取り組むほか、産業資材・プラスチックなどの企業に対しても幅広く支援しています。

素材開発室

- 技術相談・指導 織物・ニットの製造技術、染色整理など。
- 依頼試験 織物・糸物性、染色堅ろう度、快適性、風合いなど。
- 研究・支援 織物・ニットの製造技術、染色加工、スマート・テキスタイル、福祉衣料など。



アクチュエータ繊維
(スマート・テキスタイル)



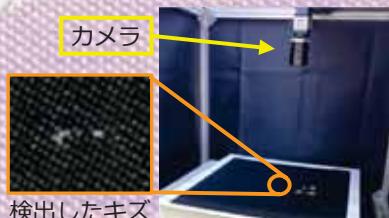
引張試験



風合い試験



芯鞘繊維ニット成形品



織布のキズ検出装置(AI利用)



促進耐候性試験
(サンシャイン・キセノン等)

機能加工室

- 技術相談・指導 機能加工技術、AI・IoT関連技術など。
- 依頼試験 繊維鑑別、化学分析、機器分析、耐候性など。
- 研究・支援 機能性加工、性能評価技術、AI(画像処理)・IoT関連技術など。



接触角試験



製品に混入した異物分析

■ 交通アクセス



JR尾張一宮駅、名鉄一宮駅より

名鉄バス乗車「繊維センター前」下車

徒歩1分

駐車場: 約80台収容(無料)

〒 491-0931一宮市大和町馬引字宮浦35

TEL 0586-45-7871

FAX 0586-45-0509

HP <https://www.aichi-inst.jp/owari/>

あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター



三河繊維技術センターは、当地域の綿・スフ織物、ロープ、ネットなどの繊維業界を総合的に技術支援する機関です。また、次世代産業を担う炭素繊維強化複合材料（CFRP）やナノファイバーなどの新しい繊維関連の産業資材の研究開発により、イノベーション創出にも取り組んでいます。

製品開発室

- 綿・スフ織物、ロープ、ネットなどの研究・技術指導
- 繊維製品などの性能評価
- 繊維製品などの技術講習会・講演会・研究試作展の開催
- 依頼試験（織物・編物・不織布・ロープ・ネット引張試験、耐候性試験、溶融紡糸、繊維鑑別など）



ロープ引張試験機(10t)



溶融紡糸装置



超促進耐候試験機
(メタリングウェザーメーター)

産業資材開発室

- 炭素繊維強化複合材料(CFRP)、ナノファイバーなどの研究・技術指導
- 産業資材製品などの性能評価
- 産業資材製品などの技術講習会・講演会の開催
- 依頼試験（機器分析、燃焼性試験、複合材評価試験など）



多給糸フィラメントワインダー

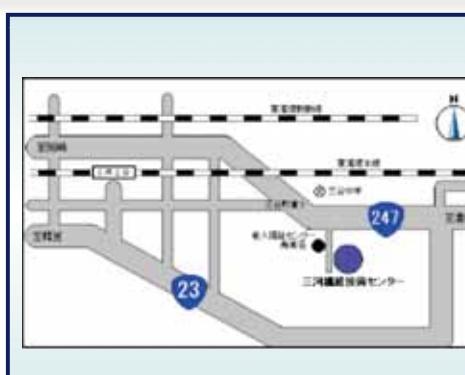


複合材界面特性評価装置



高速引張試験機

■ 交通アクセス



JR『三河三谷駅』下車徒歩20分

JR『三河三谷駅』下車タクシー5分

駐車場:42台収容(無料)

〒 443-0013
蒲郡市大塚町伊賀久保109
TEL 0533-59-7146
FAX 0533-59-7176
HP <http://www.aichi-inst.jp/mikawa/>



名古屋市工業研究所



技術に関することで困ったらまずお問合せ下さい

■技術相談

中小企業の生産・研究開発現場で発生する技術的課題に関する相談を電話、メールおよび来所等で受付けます。

■依頼試験

材料や製品の品質改善等のための試験・分析・測定・評価、日本産業規格に基づく各種試験を行います。

■受託研究・提案公募型研究

自社の設備では間に合わない、苦手な技術を必要とする等、企業が新製品・新技術の開発に単独で対応することが困難な場合、その開発研究をお引き受けします。また、国等の提案公募型研究にも取り組んでいます。

■人材育成

「中小企業研究者育成研修」「業界対応専門研修」「中小企業技術者研修」等の研修を通じて企業の技術者の育成を支援しています。

■講演・講習会

中小企業の基盤技術の高度化や新製品・新技術開発を支援するため、先進技術、当所の導入機器や研究成果等を紹介・普及を図る講演・講習会を開催しています。

＜主要技術および代表機器＞

システム技術部

製品技術研究室

(052-654-9861)

- ・機械要素および機械性能の試験
- ・工業製品、部材の長寿命化
- ・プラズマ応用技術



超促進耐候性試験機

生産システム研究室

(052-654-9938)

- ・CAEを用いた構造設計、熱設計
- ・X線CTを用いた非破壊検査
- ・三次元形状測定および検査



高出力X線CT装置

情報・電子技術研究室

(052-654-9926)

- ・電子デバイス、電子機器の開発および性能、信頼性評価
- ・AI、IoT、画像処理技術による技術開発支援



静電気試験機

計測技術研究室

(052-654-9874)

- ・機械、物性計測およびその応用
- ・吸音材評価および音響、振動計測
- ・環境試験室を利用した材料や製品の温湿度試験



吸音率・音響透過損失測定装置

材料技術部

金属材料研究室

(052-654-9880)

- ・金属、無機材料の組織観察と破壊、破損分析
- ・金属材料および製品の特性評価
- ・金属製品の非破壊検査

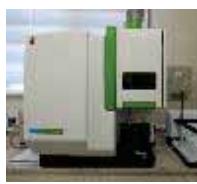


分析機能付高分解能走査電子顕微鏡

表面技術研究室

(052-654-9855)

- ・表面処理技術と解析
- ・表面における金属、無機材料の化学分析
- ・複合素材リサイクル技術



ICP発光分光分析装置

環境・有機材料研究室

(052-654-9885)

- ・プラスチック材料の化学構造、物性評価
- ・環境対応技術の開発
- ・複合材料等の赤外線非破壊検査



熱分解ガスクロマトグラフ質量分析計

信頼性評価研究室

(052-654-9913)

- ・工業製品の長期信頼性評価試験(耐食性・耐候性等)
- ・フィルムや粘着テープ等軟質材料の物性評価
- ・技術分野を横断する異物、不良調査



サンシャインウェザーメーター

＜最近の導入機器＞

装置名	設備概要	外観	その他
非接触三次元デジタイザ 【Carl Zeiss GOM Metrology GmbH】 ATOS Q	対象物に投影した青色光をカメラで撮影することで、対象物全体の三次元形状データを非接触かつ高精度に作成します。取得された形状データは寸法検査、CADデータとの比較、造形やCAEに利用可能です。		令和6年度 JKA 補助事業
赤外線非破壊検査装置 【(株)ケン・ オートメーション】 サーモグラフィ非破壊 検査装置	サンプルを加熱した際の温度変化を赤外線カメラで測定することで、サンプル中に異物やボイドなどの欠陥が存在するときに、熱エネルギーの伝搬状況に差異が生じることを利用して欠陥の検知を行います。		令和5年度 JKA 補助事業
オシロスコープ 【(株)テクトロニクス & フルーク】 MSO56B	本装置は、スイッチングデバイスの評価や電気ノイズの測定が可能です。また、パワー解析やFFT解析機能で回路のチェックや電気機器の故障時の調査など幅広い用途に活用できます。		令和6年度 臨政事業
スペクトラムアナライザ 【キーサイト・ テクノロジー(株)】 N9935B	様々なアンテナと組み合わせてEMIを想定した電磁波測定が可能です。その他に、周波数特性解析や、雑音端子電圧、雑音電力等の電磁ノイズの測定にも活用できます。		令和6年度 臨政事業

＜最近の主な事業＞

脱炭素に資する省電力電子機器の開発支援及び情報発信事業

「オシロスコープ」等を導入し、省電力電子機器の開発において課題となる電磁ノイズの特定及びその対策等の技術支援を行いました。また、エレクトロニクス業界における脱炭素化の動向に関する講演会や電子技術に関するセミナー等を開催しました。

【技術支援事業】

電子回路設計の改善指導や省電力電子機器開発の技術支援

【普及啓発事業】

①講演会(R6.10.18)
「脱炭素へ歩み出す
エレクトロニクス産業の革新」



②ワークショップ
「EMCセミナー(R6.9.3)」などの開催

Nagoya Musubu Tech Lab

新事業開発に取り組むものづくり中小企業等を支援する拠点です。

- 新製品開発に向けた会員同士の連携を深める「Musubu会」や新事業開発のヒントになるようなセミナー等のイベントを開催しています。
- 会員企業のニーズやシーズを基にした技術のマッチングを支援します。



Nagoya Musubu Tech Lab 外観



名古屋市工業研究所

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
電話番号：052-661-3161（代表） ファックス：052-654-6788

ご利用時間 月曜日から金曜日 8時45分から17時30分まで
(祝日・休日・年末年始を除く)
駐車場：約100台あり

- 地下鉄（名港線）・市バス共に「六番町」下車
- 三重交通バス（52,62系統）「六番町」下車



岐阜県産業技術総合センター



【対応可能分野】

機械、金属、化学工業、プラスチック、石灰、
繊維、紙、複合材料、電気・電子、情報処理、
ソフトウェア、メカトロニクス

【支援メニュー】

技術相談、依頼試験、機器利用（開放試験）
各種研修、各種講習会、研修生受入
出前講座、共同研究、受託研究

【当センターのご利用】

電話やメールなどでご連絡ください。
相談内容によって適切な担当者におつなぎします。

お問い合わせ(ワンストップ相談窓口)

☎ 0575-29-7151

✉ soudan@gitec.rd.pref.gifu.jp



◆住所：〒501-3265 岐阜県関市小瀬1288番地
◆HP：<https://www.gitec.rd.pref.gifu.lg.jp>

【交通アクセス】

岐阜バス 赤土坂または新田下車 徒歩約10分

※名古屋から高速バスがあります。

※JR岐阜、名鉄岐阜、関CTから路線バスがあります。

自動車 東海北陸自動車道 関インターチェンジより 約10分
東海北陸自動車道 美濃インターチェンジより 約15分
東海環状自動車道 関広見インターチェンジより 約10分

【各部の紹介】

技術支援部

- ワンストップ相談窓口を設置
- クレーム対応など高度な分析
- 放射工ミッションなどのEMC試験



化学部

- プラスチックの成形加工、リサイクル技術などの研究開発
- 素材の高機能化・高品質化に関する研究開発
- 化学関連産業に関する技術支援



機械部

- 機械加工技術に関する研究開発
- 自動化・省力化技術に関する研究開発
- 機械加工、精密測定などに関する技術支援



金属部

- 鋳造技術、金属表面処理技術に関する研究開発
- 刃物製品の高付加価値化及び評価に関する研究・技術支援
- 金属材料の分析・評価に関する技術支援



繊維・紙業部

- 繊維加工技術・紙加工技術を活用した試作、新製品開発
- 繊維・紙の高機能化や高品質化に関する研究
- 繊維・紙の特性や物性評価などに関する技術支援



次世代技術部

- 複合材料の成形・加工・接合技術に関する研究
- CNFの複合機能性材料の開発
- 航空宇宙・次世代自動車・医療福祉分野など成長産業の技術支援



情報技術部

- AI・画像処理などによる知能化技術に関する研究開発
- コンピュータビジョンの応用に関する研究開発
- 抵抗率・耐電圧などの電気試験



生産システム部

- 協働ロボット、デジタルツイン、IoTに関する研究開発
- 製品設計、生産管理に関する研究開発
- 3Dプリンタなどのデジタルものづくりに関する技術支援



产学連携部

- 国・他県・大学などの連携
- 工業系試験研究機関の総合窓口

- ぎふ技術革新センターと運営協議会に関する業務

【これまでの主な研究事例】

レーザによる金属製品の発色技術開発

金属表面にレーザを照射すると酸化皮膜が生成される。酸化皮膜を有する金属表面では、光の干渉が起こるため、人には着色したように見え、酸化皮膜の厚みを変えることで色を変化させることができる。この現象をうまく利用し、金属製品に特有の光沢のあるカラフルな意匠表現を施す技術を開発した。



レーザ加飾（多階調）



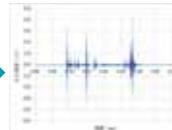
レーザ加飾（包丁）

プレス金型の故障診断手法の確立

プレス機にAE（Acoustic Emission）センサを取り付け、金型や工程異常を検出するための故障診断システムを試作した。本システムでは、明らかな製品異常やプレス材に塗布する潤滑油の異常を検出できることを確認した。



プレス加工



AE電圧波形



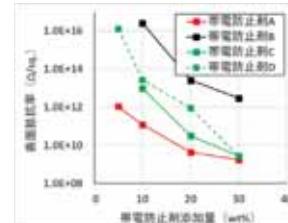
故障診断システム

静電気災害が発生しにくいプラ製薬品ボトルの開発

可燃性薬品を入れるボトルは、帯電すると静電気災害が発生する恐れがあるためガラス製が多い。しかしながら、ガラスは重く、破損しやすいため、帯電防止機能のあるプラスチック製ボトルが望まれている。プロー成形用のPE樹脂に高分子型の帯電防止剤を20wt%以上添加することで、平板の表面抵抗率が目標の $10^9\Omega/\text{sq.}\text{cm}$ オーダーになることがわかった。今後、多層プロー成形による帯電防止剤の使用量削減の検討を行う。



帯電防止剤入りPE板



風防部品、スパイクソール付義足板バネの開発

トップアスリートの義足板バネのカスタマイズ要望に対して、炭素繊維三次元造型機と超音波溶着機を使用することにより、短納期・低コストで風防部品、スパイクソール付義足板バネを製造する技術を開発した。



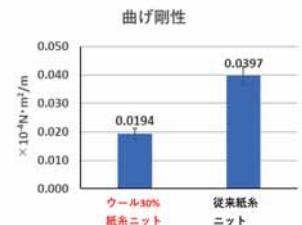
風防部品

スパイクソール

風防部品、スパイクソール
義足板バネ

ウールブレンド紙糸製品の開発

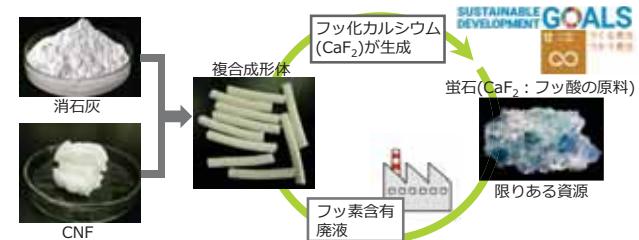
県内には機械すき和紙を使用した紙糸繊維製品を製造している企業が多くあり、一方、羽島市を中心とした尾州産地では、毛織物の製造が古くから盛んである。この点に着目し、県内企業と研究会を組織して、紙糸用原紙作製時にウール繊維を配合抄紙（混抄）することで、糸の太さが均一で、風合いが柔らかく（曲げ剛性が低く）、消臭機能が高い紙糸の開発に成功した。



ウール30%混抄紙糸を使用した試作品

セルロースナノファイバー(CNF)と石灰からなるフッ素吸着剤の開発

半導体やガラス製造工場からのフッ酸含有廃液について、これまでの消石灰の粉末を用いた処理と異なり、CNFを結合剤として消石灰と複合化した成形体を用いることで、フッ酸との反応によって生成されたフッ化カルシウムの回収が容易になり、フッ酸の原料へリサイクルする仕組みを確立することができた。

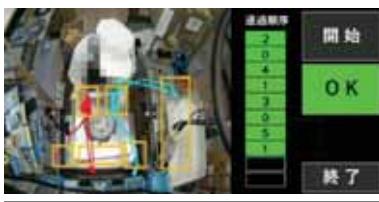


AIによる骨格検出技術を用いた 作業ミス検出システムの開発

組立工程における人の作業動作をAI技術と画像処理技術を活用して分析することにより、作業ミスを工場内でリアルタイムに検出し、不具合品が流れれるのを防ぐシステムを開発した。



作業環境とシステム構成



正しい作業時の両手の移動軌跡と
手の移動順序を評価し
作業ミスの有無を判定した例

データ分析で工場設備を自動診断するシステムの開発

工場設備のメータを自動で読み取り、日常点検として記録しながら、計測データ（振動、電流、音等）から設備のモータ軸受をリアルタイムに診断し、異常を通知するシステムを開発した。





岐阜県食品科学研究所



[対応可能分野]

食品加工分野

[得意技術]

- ・清酒・味噌・醤油などの醸造・発酵技術
- ・寒天、米菓、その他地域食材を用いた食品加工技術
- ・食品の機能性の分析・評価技術



[支援メニュー]

技術相談、依頼試験、機器利用（開放試験）

各種研修会・講習会、研修生受入

出前講座、共同研究、受託研究

食品開発プロモータ派遣



[主な機器・設備の紹介]

クリーンルームエリア



微生物検査室

成分分析・理化学実験エリア



香気成分分析装置



低真空電子顕微鏡



超高速液体クロマトグラフ
光学質量分析システム

醸造・発酵エリア



清酒醸造用タンク



麹室



官能評価室

その他

マイクロプレートリーダー
リアルタイムPCR装置

原子吸光分光光度計
窒素測定装置

紫外可視分光光度計

フーリエ変換赤外分光光度計

熱分析装置

食品物性測定装置

（レオメーター）

ラピッドビスコアナライザー

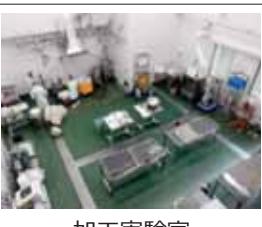
醸造用縦型精米機
蒸米機

ショックフリーザー
(急速冷凍・凍結)

真空凍結乾燥機

燻煙器

交流・食品加工エリア



加工実験室



ニーダー



レトルト殺菌装置

お問い合わせ

TEL : 058-201-2360

[当所のお役立ち事例]

県が4年ぶり開発した酒米新品種「酔(よい)むすび」で地域ブランド創出



◆技術相談の概要
酒造組合より、東濃地域で栽培した酒米を使い、地域のオリジナルブランドとなる酒をつくりたいとの要望がありました。

◆支援概要
・中山間農業研究所が育種を、食品科学研究所が試験醸造を担当し、地域に適した酒米の開発を行いました。
・本酒米は、人と人を結ぶきっかけになってほしいとの願いを込め、「酔むすび」と命名されました。すっきりとした癖のない味わいが特徴です。
・2025年2月より、東濃の酒蔵9蔵が「酔むすび」で仕込んだ新酒を販売しています。

発芽ニンニクの機能性表示食品申請を支援



◆技術相談の概要
高齢従業員の職場確保を目的として、野菜の製造販売に異業種参入した研磨事業者より、製造する野菜の品質や付加価値を向上させたいとの要望がありました。

◆支援概要
・機能性表示により、製品の魅力を訴求しやすい野菜として、発芽ニンニクの選定を提案しました。
・食品開発プロモータ（保健機能食品開発有識者）と連携して、機能性表示の届出等を支援しました。
・2024年2月に届出が受理(I1055)されました。(当該生鮮品として業界初)
・1個(約4g)/日(アリイン12mg)で高めの悪玉コレステロール値の低下が期待できる「ロケット発芽にんにく」として販売を開始しました。

[当所のご利用] 来所、電話などでご連絡ください。

■本所



住所 〒501-1112 岐阜県岐阜市柳戸1番1
電話 058-201-2360(代) FAX 058-201-2363
メール info@food.rd.pref.gifu.jp
ホームページ <http://www.food.rd.pref.gifu.lg.jp/>

【アクセス】

- 岐阜大学バス停から徒歩約5分
- 岐阜バス 岐阜大学下車(C70系統、N45系統)
※JR岐阜駅、名鉄岐阜駅より約30~35分
- 自動車 岐阜大学正門より入構、駐車場ゲートにて当所ご来所の旨をお伝え下さい。

■寒天研究室 〒509-7607 岐阜県恵那市山岡町下手向1865-1 電話 0573-56-2556 【アクセス】明知鉄道山岡駅より徒歩15分



岐阜県セラミックス研究所



【対応可能分野】

窯業、無機材料

【得意技術】

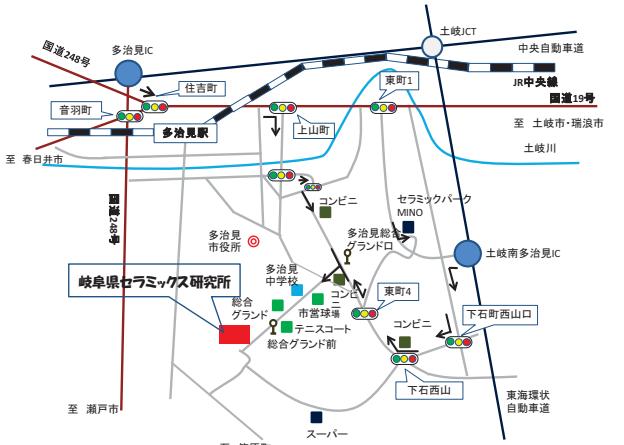
陶磁器原料・釉薬調合技術、成形技術
焼成技術、機能性セラミックス、
デザイン・加飾

【支援メニュー】

技術相談、依頼試験、機器利用（開放試験）
中小企業技術者研修、各種講習会、研修生受入
出前講座、共同研究、受託研究

【当センターのご利用】

来所、電話などでご連絡ください。
相談内容によって適切な担当者におつなぎします。



住所 〒507-0811 岐阜県多治見市星ヶ台3-11
電話 0572-22-5381 FAX 0572-25-1163
ホームページ <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>

【アクセス】

東鉄バス 総合グランド前下車 徒歩約 3分
総合グランド口下車 徒歩約15分
タクシー 多治見駅より 約15分
自動車 中央自動車道多治見インターより 約15分
東海北陸自動車道岐南多治見インターより 約 5分

お問い合わせ ☎ 0572-22-5381

【主な機器・設備の紹介】



蛍光X線分析装置



比表面積測定装置



熱伝導率測定装置



レーザー顕微鏡



水銀ポロシメーター



インパクト試験機

【これまでの主な研究事例】

低温焼成リサイクル食器(Re50)の透明釉

Re50初の透明釉商品として2022年に県内企業が商品化した。

これまで当研究所では、通常よりも100~200℃低温で焼成可能とすることでCO₂排出量が削減されたリサイクル食器(Re50)を開発し、県内企業がマット釉で商品化してきた。

透明釉の商品化により、Re50のデザインバリエーションが増えるとともに、マット釉で課題となるメタルマークの課題も解決でき、今後の普及拡大が期待できる。



「太白焼（たいはくやき）」150年ぶりに復活

江戸時代末期に美濃や瀬戸で生産され、約150年前に作られなくなった染付の焼物「太白焼」について、素地と釉薬の分析を行い、再現することに成功した。美濃で最初に太白焼を焼き始めた県内企業に技術移転し「新生太白焼」として製品化した。



江戸時代末期の太白焼

研究所が再現した太白焼

株式会社幸兵衛窯による新生太白焼

透かし情報タグによる製品のブランド化

県内企業との共同開発により、陶磁器製品のデザインに影響を与えない特殊な顔料を用いて、情報タグを製品に印刷する転写技術を開発した。

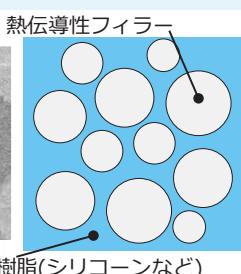
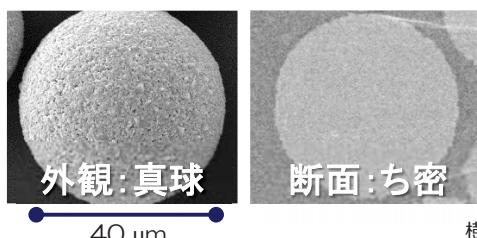
この見えない情報タグは、ブラックライトを照射すると発光し浮かび上がり、スマートデバイスにて読み取ることができる。通常使用では見えない情報タグを印刷しているので、粗悪な偽物が発生した場合に真贋判定として利用することができる。



放熱部材向け高熱伝導フィラーを開発

県内企業との共同開発により、放熱部材の特性向上に寄与する高熱伝導フィラーとして、球状炭化ケイ素(SiC)を開発した。

高い放熱性能をもつ炭化ケイ素は、樹脂と混ぜ合わせ放熱シートに加工するなど新商品の開発が可能である。



樹脂(シリコーンなど)

炭化ケイ素製「特殊ねじ」

県内企業との共同開発により、炭化ケイ素(SiC)製の「特殊ねじ」を開発した。

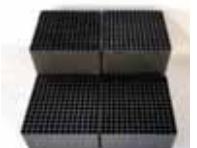
耐熱性、耐薬品性に優れ、高硬度の特性を活かし、次世代半導体として期待が高いパワー半導体関連や、航空宇宙関連での使用が可能となる。



工業用加熱炉の蓄熱体の開発

県内企業と炭化ケイ素製蓄熱体の提案及び特性評価の実証を行った。

既存のアルミナやコーディエライト製蓄熱体より使用燃料が5~7%削減でき、優れた特性を示すことを実証し、実用化につなげた。市販開始後、現在までに約4億円程度の売り上げがある。



【開発した蓄熱体】



岐阜県生活技術研究所



岐阜県生活技術研究所は、家具装備品製造業、木材・木製品製造業を対象に原材料、生産加工、表面処理、デザイン等の各分野の試験研究を行っています。素材技術、生産技術等の分野に加え、人間と製品及び住環境のあり方に関して、人間生活工学的評価に基づく、生活者からみたモノづくりや製品企画・評価を中心とし、福祉用具開発、住環境計測、エコマテリアル技術開発等を主とした生活関連産業を支援する研究機関です。

所在地 〒506-0058 高山市山田町1554番地

電 話 (0577)33-5252

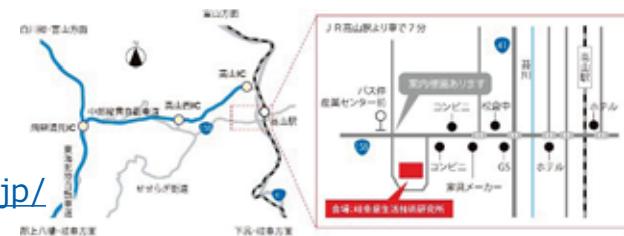
F A X (0577)33-0747

E-mailアドレス : info@life.rd.pref.gifu.jp

ホームページ : <https://www.life.rd.pref.gifu.lg.jp/>

JR高山本線「高山駅」下車 タクシー10分

中部縦貫自動車道（高山清見道路）「高山西IC」より車で15分



研究開発 : 快適な生活環境を創出するための研究を行います

(得意分野 : 木質系材料分野、住宅、住環境、福祉用具分野)

技術支援 : 製品評価、人間生活工学、デザイン、材料・製品試験検査を支援します

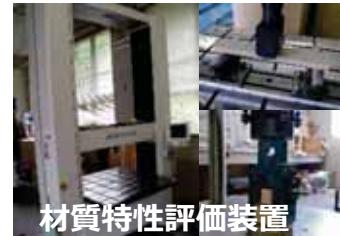
(関連の依頼試験、開放機器利用、技術相談、人材育成、受託研究)

主な機器・設備の紹介

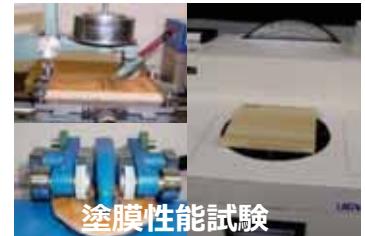
木質材料の加工や、表面物性を測定



木工用加工機



材質特性評価装置



塗膜性能試験

木材成分を分析、感性評価



におい嗅き装置付きGC-MS



照明環境シミュレーション



体圧分布装置

木製品の耐久性、音響特性、寸法安定性を測定



椅子耐久性試験機



音響特性評価装置



ダブルチャンバー式環境試験室

これまでの主な研究・支援事例

曲げ木に関する研究・支援

- 多様な樹種、多用なデザインに対応可能な製造技術を支援。
- 曲げ木の可否を自動的に判定するプログラムを開発。



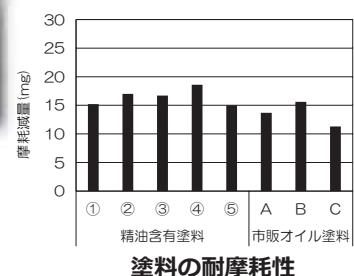
- より小さな曲げ半径に対応。
- 不良率を大幅に改善。

木材乾燥精油に関する研究・支援

- 精油回収装置の実証試験を実施し、木材乾燥条件を最適化。精油生産性が向上。
- 精油を含有した木部保護塗料を試作し、新たな活用方法を提案。



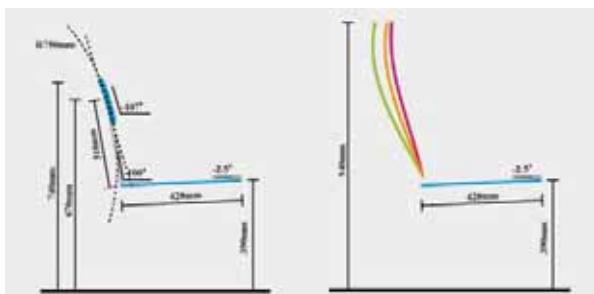
木材乾燥機(奥側)と
精油回収装置(手前)



人間工学による設計支援・製品化

- 座り心地の良い椅子開発をしたい。
- 身体計測、生理計測・官能評価等に基づき、椅子の設計指針を提案。
- 臀部形状計測機の開発、椅子の商品化。

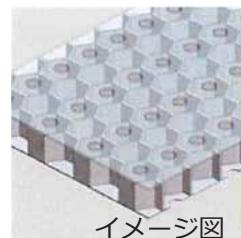
設計指針



商品例

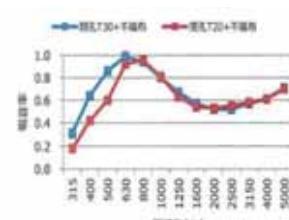


「軽量・高剛性」のTECCELL (テクセル) を基材とした吸音パネルの開発



商品名: セイント

- テクセル既製品の用途を広げたい。
- 表面に微細な開孔を設けることにより、ヘルムホルツ効果により、吸音性がアップすることを提案。
- 当所の音響評価装置により、各周波数の吸音特性を明確にした





瑞浪市窯業技術研究所



陶磁器に関する様々な支援で企業をサポートいたします

昭和44年に「窯業技術指導所」としてスタートしてから陶磁器に関する様々な研究開発や商品開発、人材育成等の支援を行っています。

近年は、3次元CADと切削加工機による商品開発や技術支援、人材育成を進めております。

また、陶磁器の伝統文化と技術を伝え継承していくため、技術講座や食器デザイン展の開催、地域の作陶活動の支援等にも取り組んでいます。

主な業務

- 依頼試験・試作
- 技術相談
- 各種技術講座・講演会の開催
- 設備機器の貸出
- 児童生徒食器デザイン展の開催
- 地域活動の支援

依頼試験・試作手数料と設備機器使用料

試験試作手数料		単位	手数料	
			市内	市外
粒度分析	1試料	1試料	3,000円	4,500円
鉛・カドミウム溶出試験	1試料	1試料	600円	900円
スパーリング 試験	1試料	1試料	1,800円	2,700円
模型、原型試作	1点1時間	1点1時間	3,000円	4,500円
意匠試作	1点1時間	1点1時間	3,000円	4,500円
CAD CAM 試 作	データ作成 切削加工	1点1時間 1点1時間	3,000円 500円	4,500円 750円

設備機器使用料		単位	使用料	
			市内	市外
窯業機器	1回	1回	500円	750円
電気炉 20kW	850℃ 以下	1回	6,000円	9,000円
	1250℃ 以下	1回	9,000円	13,500円
電気炉 10kW	850℃ 以下	1回	4,000円	6,000円
	1250℃ 以下	1回	8,000円	12,000円
電気炉 5 kW	850℃ 以下	1回	2,000円	3,000円
	1250℃ 以下	1回	4,000円	6,000円

●項目により材料代等の実費が加算されます。詳細についてお問い合わせください。

●試験や試作については依頼内容により日数がかかりますので、ご相談ください。

ご利用の流れ

お問合せ TEL:0572-67-2427 メール: yogyo@city.mizunami.lg.jp

来所



お申込み



試験・試作
の実施



結果書・試
作品の提出



お支払

ご来所のうえ、
担当職員と内容
について打合せ
します。

依頼書に必要事
項をご記入のう
え、お申込みく
ださい。

お預かりした試料で
試験を行います。
依頼内容に基づき試
作をします。

完了しましたら
電話連絡いたし
ます。ご来所く
ださい。

納入通知書をお
渡ししますので、
金融機関等でお
支払ください。

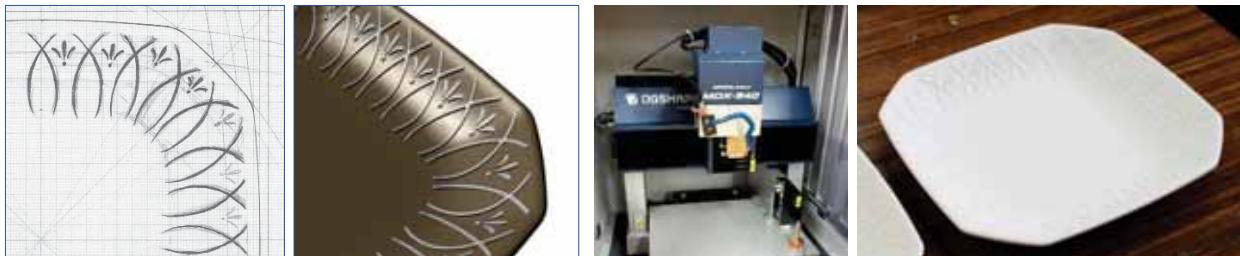
●郵送やメール、電話やFAXでの依頼申込み受付や結果の通知は行っておりません。

年間100社を超える事業者の方がご利用しています

地元の企業をはじめ、陶芸家や公民館、地域の人たちの活動を支援しています

利用例1 商品の開発で利用

- 3次元CADと切削加工機を使って石膏モデルを制作



図面や寸法を基に3次元CADデータを作成します

切削加工機で石膏モデルを制作することができます。

- 「ものづくり研究会」への参加



令和元年度から商品企画などの可能性を検討する研究会を開催しています。各分野の専門家と参加者が自由に意見を出し合い、商品化や今後の展開について検討を行います。

令和元年度 各社の商品開発における取り組みと課題

2年度 クラフトビールに合う器

3年度 S D G s 時代の新たな視点

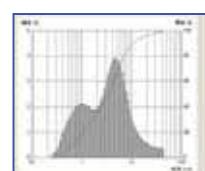
4年度 みんなで考える未来の食器

5年度 未来のために今、やる事、やめる事（フォーラムの開催）

利用例2 製品の品質管理で利用

- 品質の検査をすることで、未然にトラブルを防ぐことに役立ちます。

3項目の製品試験検査を行っています。対応していない検査については近隣の試験機関を紹介いたします。納品先での商品破損等の原因などについても相談を承っています。



【鉛・カドミウム溶出試験】

上絵製品等からの鉛やカドミウムの溶出の有無を調べることができます。

【スパーリング試験】

加熱した製品を急冷して欠陥の有無を調べます。

【粒度分析】

粘土や原料の粉の分布状態を測定してどれくらい細かいのか分析できます。

利用例3 技術や陶磁器について学ぶ

夜間講座を開催しています。受け継がれてきた陶磁器の技術を学ぶ技術講座、釉薬や陶磁器に関する基本的な知識を学ぶ講座、C A Dソフトで形状データの作成方法を学ぶ講座など年間を通じて開催しています。



染付講座



石膏講座



釉薬講座



CAD講座



陶磁器セミナー



多治見市陶磁器意匠研究所



陶磁器産業の発展及び技術の向上のため、
世界に向けてやきものの魅力を発信するため、
人財育成、デザイン支援及び技術支援を行っています。

※ 多治見市役所では“人材”を“人財”と表記しています。



人財育成事業

美濃焼業界をはじめ全国の陶磁器生産地、さらには海外を
フィールドとして、やきもののあらゆる分野で活躍する人財の育成に取り組んでいます。

全国各地から集った若者たちが、土練りから成形技術、デザインや陶磁器釉薬の知識まで広くその技術と知識を学び、明るい雰囲気の中、陶磁器の明日と自らの将来を真剣に考える研修期間を過ごしています。



デザイン支援事業

美濃焼陶磁器業界の支援を目的に、幅広いデザイン業務を行っています。3Dプリンターを導入し、形状サンプル見本、樹脂原型としての活用を支援するとともに、地元企業の方々と連携し、さらなる有効活用について研究しています。



技術支援事業

時代のニーズに応じた陶磁器に関する技術支援・食器安全対策を行っています。製造方法や管理体制に起因する製品の欠陥に対し、問題解決のため、業界の方からの技術的な相談に対応しています。



お問い合わせ

多治見市陶磁器意匠研究所
〒507-0803 多治見市美坂町2丁目77番地
Tel : 0572-22-4731 FAX : 0572-25-0983
email : ishoken@city.tajimi.lg.jp



三重県工業研究所

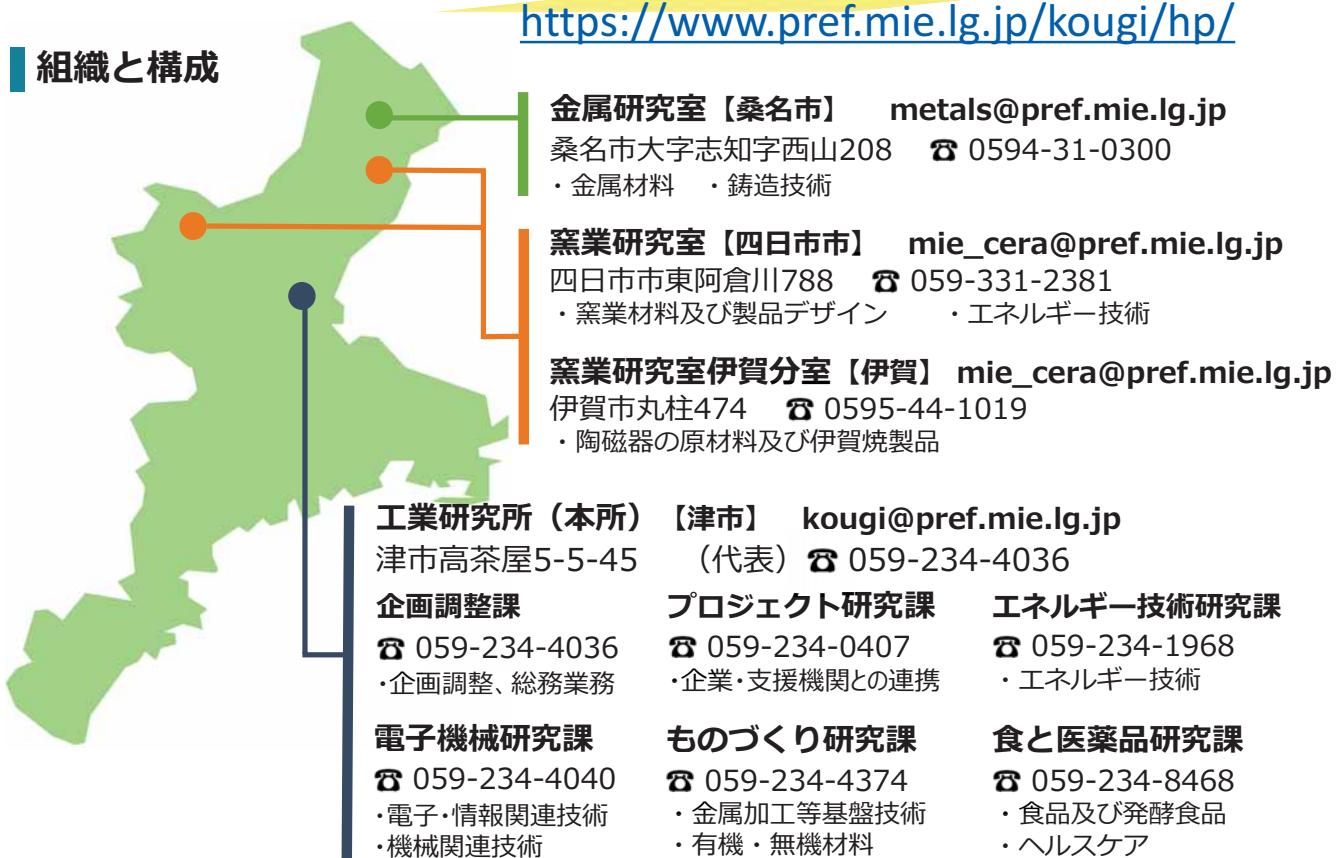


三重県は、全国屈指の製造業割合が高い工業県です。三重県工業研究所では「地域を支えるものづくりパートナー」として、機械、金属、プラスチック、土石窯業、電気電子、食品、醸造、ヘルスケア、環境エネルギーなど、広い技術分野で地域の製造業を支援しています。

「地域を支えるものづくりパートナー」

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/>

組織と構成



情報発信

《youtubeチャンネル》

開放機器の利用方法、保有機器の情報などを不定期に発信しています。



《メールマガジン》

研究内容、人材育成、新規導入機器などの情報を毎月配信しています。

https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/38539032913_00001.htm



《三重県工業研究所だより》

各研究課室の研究・特許・開放機器・セミナーなどを紹介しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/kougi/hp/p0039900028.htm>



主な開放機器

試験評価機器や試作機を中心に、200台以上を有償開放しています。自社の品質保証にお役立てください。

機器設備
データベース



金属研究室（桑名市）



熱電子型SEM/EDX



砂型積層造形装置



真空紫外ICP発光分光分析装置

窯業研究室（四日市市）



熱膨張測定装置



粉末X線回折装置



原子吸光分光光度計

工業研究所（本所）（津市）



FE型走査電子顕微鏡EDX付



X線CTシステム



ハイブリッド成形機



放射ノイズ測定システム



複合サイクル試験機



振動試験機

食品試作用機器



アイスクリーム製造装置



真空凍結乾燥機



ドラムドライヤー



急速凍結器



静岡県工業技術研究所



拠点の紹介・交通アクセス



静岡県工業技術研究所



ホームページ



富士工業技術支援センター



ホームページ



浜松工業技術支援センター



ホームページ



沼津工業技術支援センター



ホームページ



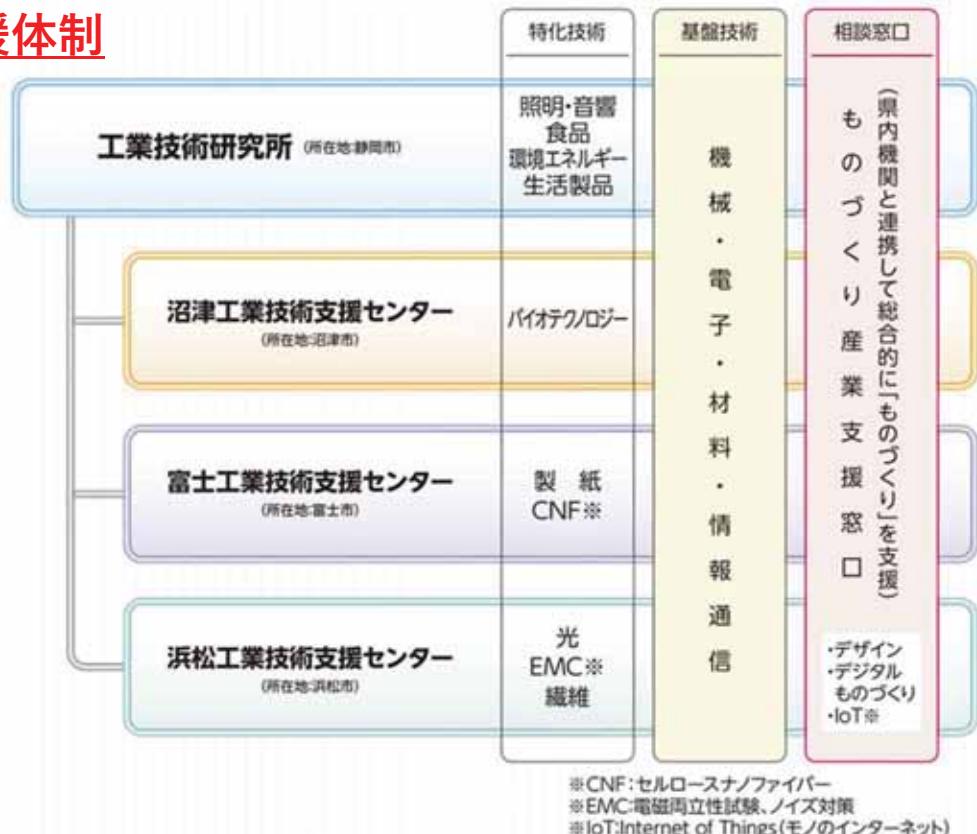
ホームページ

工業技術研究所（静岡市）の下に東部は沼津及び富士、西部は浜松に工業技術支援センターを配置し、県内産業を一體的に技術支援できる体制となっています。



ホームページ

支援体制



各地域の産業分野に特化した「特化技術」と、様々な産業に横断的に係る「基盤技術」の両方を研究所及び各工業技術支援センターで扱っており、地域産業の振興や新たな産業の創出などに取り組んでいます。

特色のある施設・研究事例等

工業技術研究所（静岡）

県内企業のDX推進を目的に、レーザースキャナによる中小企業版デジタルツインを構築しました。現場の生産状況の見える化や設備の増設に伴う搬入ルート、レイアウトの検討が可能です。



仮想空間上での工場の再現

富士工業技術支援センター

CNF等の微細化セルロースは流通量が確保されず、価格の高止まりから普及が進んでいません。そこで効率的に大量生産できる装置を開発して、希望する事業者に無償で提供する支援を開始しました。



CNF製造向けリファイナー

浜松工業技術支援センター

輸送機器産業の開発期間短縮や軽量化などの課題解決のため、「デジタルものづくりセンター」を開設して金属3Dプリンタによる試作支援を行っています。



デジタルものづくりセンターの施設

沼津工業技術支援センター

世界的な日本食ブームを背景とした県産清酒のブランド力向上のため、新たな静岡酵母の候補株を複数取得しました。国税庁指定の地理的表示(G I)静岡スタートアップイベントでPRを行いました。



G I 静岡スタートアップイベント

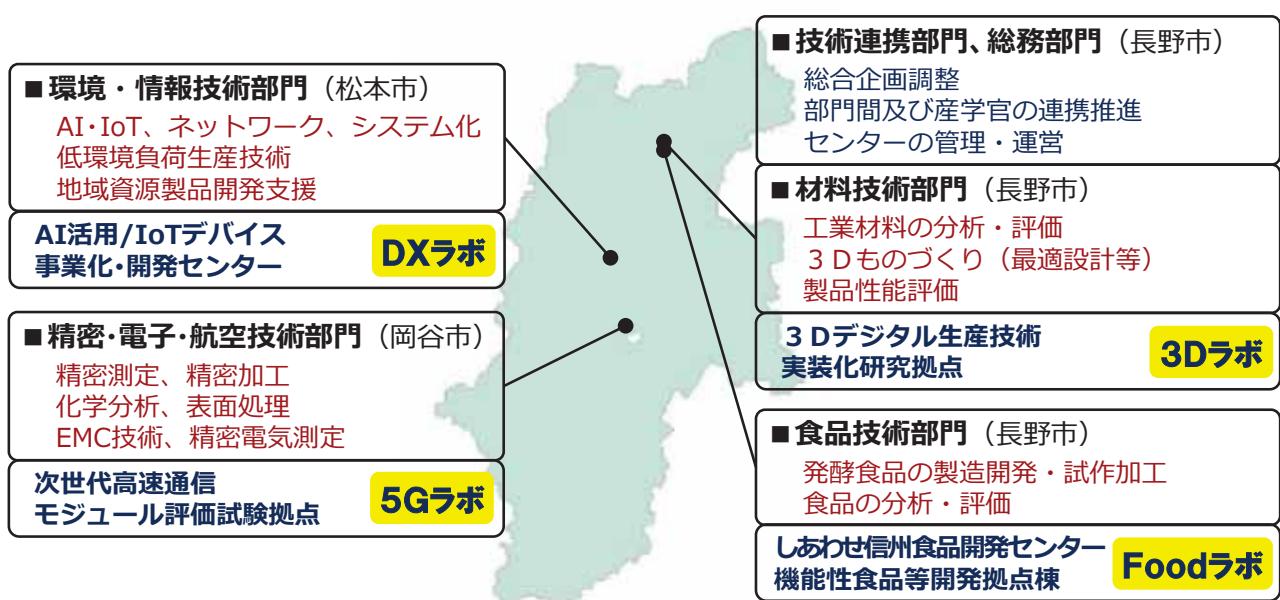


長野県工業技術総合センター



長野県工業技術総合センターは、技術相談、依頼試験、施設利用、研究開発、人材育成、情報提供、技術連携支援等により、中小製造業等の皆様の様々な課題解決をお手伝いしています。

組織



業務内容

○緊急・日常的 課題解決（基本業務）：技術相談、依頼試験、施設利用

○中長期的 課題解決（基本業務）：研究開発（特別、共同、受託、提案公募研究など）、人材育成

○産業振興プラン等に基づく技術支援（重点事業）

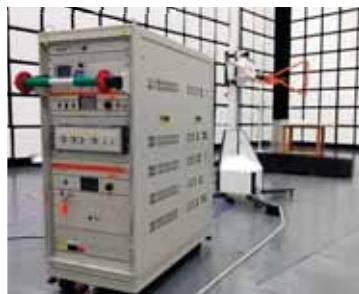
産学官連携技術開発推進事業、DXソリューション提案事業、カーボン排出量可視化・削減支援事業、スマートファクトリー・AI・ロボット基盤技術高度化推進事業、次世代高速通信モジュール評価支援拠点事業、航空機システム産業振興拠点機能強化事業、航空機機能品・装備品開発支援事業、食品産業の活性化支援事業、信州地酒振興事業、地域資源製品開発支援センター（デザインサポートながの）

主な新規設備（令和6年度導入）

- 放射電磁界イミュニティ試験システム（JKA補助）
- フーリエ変換赤外分光分析装置（JKA補助）
- 減圧マイクロ波乾燥装置（デジタル田園都市国家構想交付金）
- 新規導入設備紹介URL <https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/shiryo/sinkisetsubi/>



主要設備紹介



放射電磁界イミュニティ
試験システム (JKA補助)
(電磁波ノイズ耐性の評価)



フーリエ変換赤外分光分析装置
(JKA補助)
(有機物や一部の無機物の定性分析)



減圧マイクロ波乾燥装置(国補)
(マイクロ波による食品の加熱・乾燥)



ガスクロマトグラフ
質量分析装置 (JKA補助)
(揮発性有機成分の定性・定量分析)



電気油圧サーボ疲労試験機
制御装置 (JKA補助)
(引張・圧縮の繰り返しによる疲労試験)



人体動作解析装置
生体安全評価装置
(動作計測や関節角度計測)

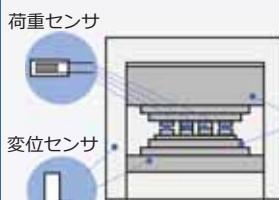
支援事例

プレス加工DXシステムの開発

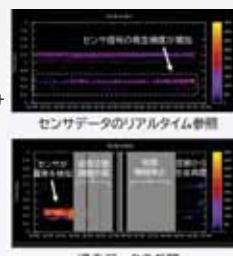
日本塑性加工学会
論文賞受賞!

金属プレス加工において金型異常による加工不良の発生が問題となっており、金型の異常を早期に検知したい。

各種センサーにより金型内部を「見える化」し異常を検知。加工不良の発生を初期段階で抑えることができた。



システム概要とモニター画面例



果樹用収穫ロボットの開発

中山間地の圃場における農作業の省力化において最も重要な課題の一つである収穫作業の自動化を目指し、第一段階として果樹（リンゴ）の収穫ロボットを構築したい。

ビジョンセンサとAIによりリンゴの認識および位置情報を取得し、把持・収穫動作を行なうシステムを構築した。フィールドテストの結果、リンゴの自動収穫が可能であることが確認できた。



リンゴの認識 (屋内)

メルマガ申し込み

当センターでは、技術講習会、イベント、新規導入設備の紹介、センターの成果事例、技術情報等、企業の皆様のお役に立つ情報を届けます。メルマガを発行しております。メルマガの配信を希望される方は、右のQRコードよりお申し込みください。（無料でご利用いただけます。）



長野県工業技術総合センター 技術連携部門

長野県長野市若里 1-18-1 ☎ 380-0928

TEL:026-268-0602 E-mail:gijuren@pref.nagano.lg.jp

URL:https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms



富山県産業技術研究開発センター



ーとやま発・イノベーションを支援ー

富山県産業技術研究開発センターでは、各種設備と拠点機能を整備し、企業の技術力向上に向けた技術支援メニューを強化しています。また、それぞれの研究所が、オープンイノベーションによる新技術の創出、地域資源を活用した産業形成の支援に取り組んでいます。

組織体制

地域の産業集積に対応し、3研究所体制で企業をバックアップしています。



産業形成に向けた拠点機能整備

高機能新素材



産学官・異業種連携によるイノベーションをハード・ソフトの両面から支援します。

オープンイノベーション・ハブ& 製品機能・環境負荷評価ラボ
(ものづくり研究開発センター)

ものづくり研究開発センター（高岡市）

金属、樹脂、複合材料など素材の成形・加工技術の研究開発から製品試作・評価まで、「ものづくり研究開発」を切れ目なく支援します。

生活工学研究所（南砺市）

「衣」、「住」、「遊」といった人間生活に関係する産業製品や生活資材をはじめ、ヘルスケア、フェムテック製品の開発を支援します。

機械電子研究所（富山市）

CAEをはじめとするデジタルエンジニアリングを活用した新しいものづくりや、競合に勝る製品の創りこみを支援する高度な分析、信頼性評価を提供します。

ヘルスケア



ヘルスケア製品開発において、
感覚、生理、動作等の人間特性を客観的に計測評価します。

ヘルスケア製品開発棟
(生活工学研究所)

製品競争力の向上



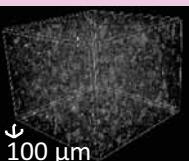
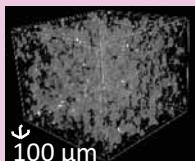
バーチャル・リアルな製品づくりだけでなく、精緻な分析・評価により、製品の品質と競争力向上を支援します。

先端デバイスマルチ信頼性試験室
(機械電子研究所)

特徴ある研究の紹介

次世代産業の形成に貢献できる技術開発を行っています。

ものづくり研究開発センター



セルロースナノファイバーと樹脂の複合材料内のCNF分散状態評価 (X線CT)

3Dプリンタにより作製した宇宙用蓄熱器



サーボプレスによる異種材料の接合



マイクロ波無線電力伝送システム

生活工学研究所



カチオン染料を用いたポリプロピレン繊維の新しい染色方法



機能性とデザイン性を両立させたウェストウォーマー

機械電子研究所



AIによるチューリップの病株判定



微細加工可能な温度応答性ゲルで製作したマイクロバルブ

新設設備の紹介

高度化する産業技術に対応した最新設備を導入しています。



電子機器等からの電磁ノイズの強度・耐性を評価するエミッഷン測定システム
イミュニティ試験システム



化成品などの合成中簡体に含まれる微量成分の定性・定量分析に活用できる
液体クロマトグラフ質量分析装置



材料、部品、構造物などの様々な特性を有限要素法や分子動力学に基づく数値計算によりシミュレーションすることができる
統合型CAEシステム



大型工業製品の強度試験を行うことができる
大型構造物試験機



電気作用によってポリマーを超極細繊維化します
エレクトロスピニング装置



急激な温度変化に対する製品の耐性を評価できる
冷熱環境試験機



製品の衝撃耐久性など評価できる
落下衝撃試験機

お問い合わせ 富山県産業技術研究開発センター 企画調整課
〒933-0981 富山県高岡市二上町150

TEL: 0766-21-2121, FAX: 0766-21-2402, E-mail: kikaku2@itc.pref.toyama.jp
Web: <http://www.itc.pref.toyama.jp/>





石川県工業試験場



企業の皆様の技術的な問題の解決に、工業試験場がお手伝いします。

■ 役割

石川県では、明治期の勧業試験場時代から県内産業の育成に努めていましたが、昭和37年に繊維工業試験場、機械工業指導所及び工芸指導所を統合した工業試験場が発足し、昭和58年に現在地に移転しました。以来、「県内企業の試験室・実験室」として、技術相談、測定・分析、研究開発、人材養成に取り組んできました。

現在、工業試験場では、令和5年に策定された「石川県成長戦略」に掲げる「新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり」や「デジタル活用の推進の実現」に向け、企業の皆様の技術支援に総合的に取り組んでいます。

■ 事業の概要

技術相談 企業の技術課題を解決します

● 基本的な支援

技術課題の解決に向け、試験場での相談対応のほか、状況に応じて企業に出向いて現場アドバイスも行っています。

● 集中的な支援

県内企業の技術的な問題解決や工業試験場の研究成果を企業に技術移転するため、複数回または複数年度にわたり支援をします。

測定・分析および設備の利用 開放試験を拡充しています

● 依頼試験

研究職員が分析・試験・測定し、成績書を発行します。

● 開放試験

企業の技術者自身がおよそ250台の設備（開放機器）を操作できます。

※ 事前に操作技術について「機器操作習得研修」の講習を受けていただくことがあります。

研究・開発 ニーズに応える研究開発をしています

● 受託研究

企業の新製品、新技術開発を支援するための研究や工業試験場の研究シーズや設備を活用した共同研究を行います。

● 産学官研究

新製品、新技術開発を、産学官の力を結集して行っています。

● 工業試験場の研究開発

シーズを創出・育成したり、業界共通の技術課題を解決する研究を行っています。

人材養成 実習やセミナーで機器操作から最新技術まで

● 研修

機器操作習得研修 工業試験場が保有する試作機器や分析機器の操作技術を習得します。

基盤技術講習 基盤となる技術のセミナーを開催します。

モノづくり百工塾 数回にわたる課題実習を通して、幅広い分野の将来を担う中核的技術者を育成します。

研究参画型研修 企業の技術者・研究者等が、試験場の研究に参画しながら研究開発のノウハウを習得します。

● セミナー

次世代産業育成講座・新技術セミナー 次世代産業の育成に繋がる最新の技術動向のセミナーを(公財)石川県産業創出支援機構(ISICO)と共同で開催しています。

● 研究会の運営

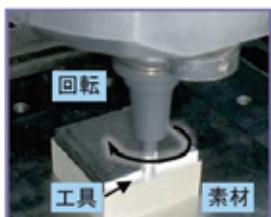
当該分野における幅広いテーマ毎に研究会を運営し、情報交換や会員相互の交流を図っています。

■主な研究開発テーマ

近年注目されている技術の活用や新しい分野への進出を技術的に支援するほか、伝統産業や地域資源を活用した製品開発に積極的に取り組んでいます。

デジタルによるものづくり技術の開発

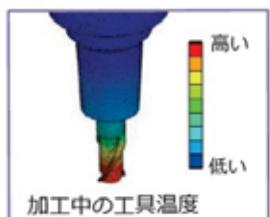
リアル空間(切削加工)



- ・切削加工条件(回転数など)
 - ・センサ情報(温度など)
- 高速シミュレーション(刃先温度見える化)
- 加工の分析と条件の修正

デジタルツインによる高度加工システムの開発

サイバー空間



生産性向上のためのデジタル技術の開発

データ収集の簡単化

記録の自動化

簡単保存・表示・分析



安価、簡便に工場内をIoT化するシステムの開発

カーボンニュートラルに向けた素材開発



繊維くずから紡績糸ができるまでの流れ
産地の繊維リサイクル

繊維くずを利用したリサイクル紡績糸の開発

環境エネルギー分野の材料開発



マテリアルズインフォマティックス (MI) を活用して材料開発を迅速化



GXに貢献する次世代電池や水素貯蔵材料の開発

発酵技術を活用した新製品の開発



酵母を採取し
育種・改良



県内酵母による酒造の技術開発

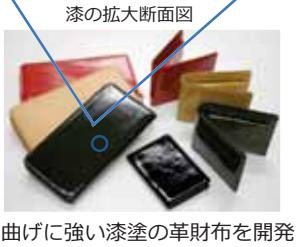
伝統産業における新製品の開発



珪藻土削り粉を用いた
赤色系顔料を開発



九谷焼上絵サンプル



伝統工芸品の技術開発

 石川県工業試験場
URL <https://www.irii.jp/>

顧客サービス窓口 076-267-8081 service@irii.jp

□管 理 部 076-267-8080 □繊維生活部 076-267-8083
□企画指導部 076-267-8081 □デザイン開発室 076-267-8085
□機械金属部 076-267-8082 □化学食品部 076-267-8086
□電子情報部 076-267-8084 □食料加工技術研究室 076-267-8086
金沢市鞍月2丁目1番地 ☎920-8203 FAX 076-267-8090

□九谷焼技術センター 0761-47-3631

小松市正蓮寺町は21番地の3 ☎923-0151 FAX 0761-47-3632

試験場の「いま」を発信中！ メールマガジンの配信登録



facebook



Instagram



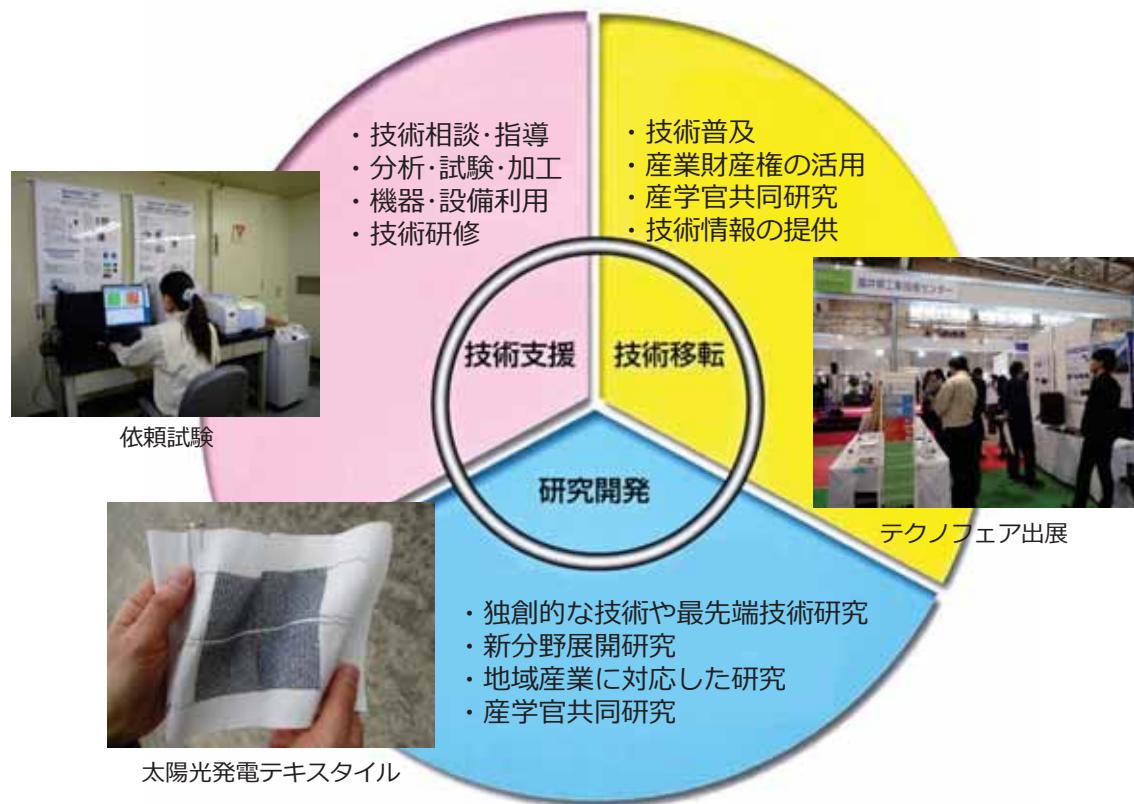


福井県工業技術センター

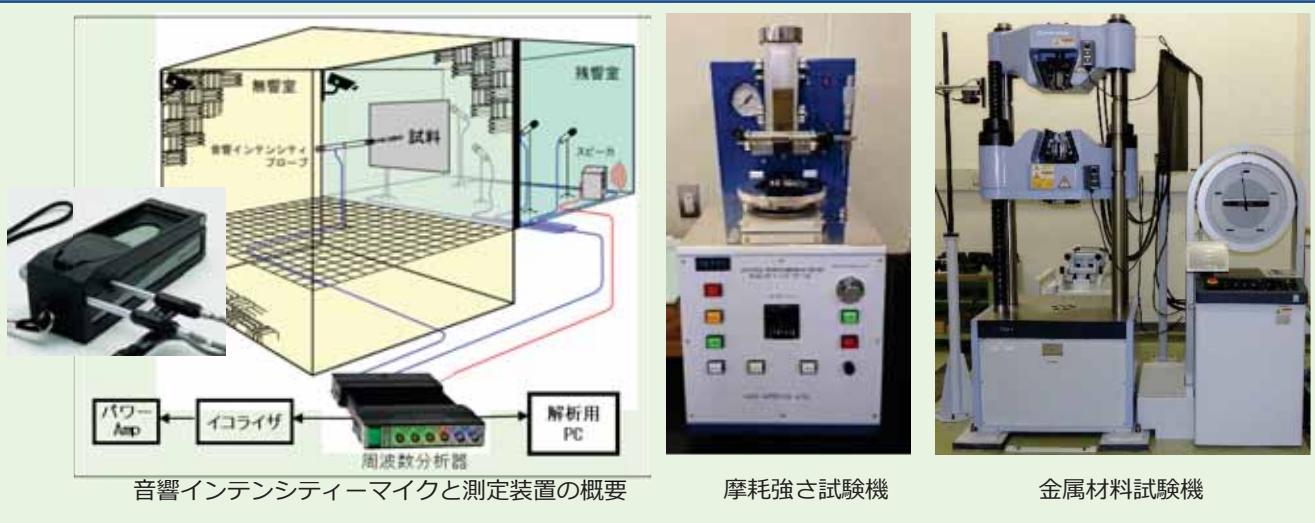


あなたの会社の技術部です！お気軽にご利用ください。

福井県工業技術センターでは、地域に開かれた県内産業の総合的な試験研究機関として、研究開発、技術支援、技術移転を3つの柱として事業を行っています。



主要機器設備



特徴的な研究開発や試験等の紹介

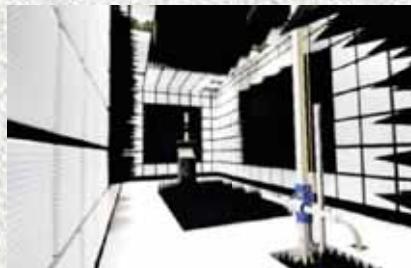
超小型人工衛星の試験

福井県では、「福井県民衛星プロジェクト」において産学官金が連携し、衛星製造から衛星データの利活用まで、様々な面で宇宙ビジネスの創出を目指しています。

当センターでは、宇宙の特殊環境に対する信頼性試験を行うことができる設備を整備し、2021年3月に打上げに成功した県民衛星「すいせん」を含む超小型人工衛星の試験環境を提供しています。



クリーンブース



大型電波無響室 (6面電波暗室)

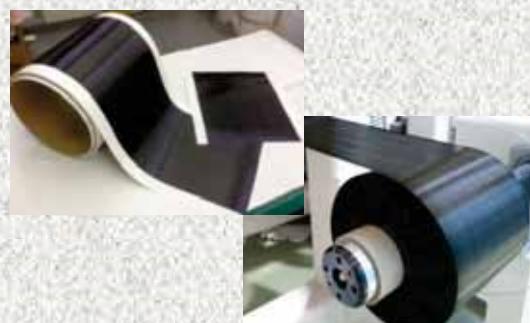


熱真空試験機

開織技術を活用した炭素繊維複合材料の開発

当センターでは、炭素繊維やガラス繊維などの繊維束を連続して幅広く薄くする「開織技術」(特許)を開発し、厚さ0.05mm以下の薄層シートの開発やそれを活用した新しい複合材料の力学的評価を行っています。

開織した繊維束に熱硬化または熱可塑性樹脂を染み込ませることで、厚さ0.02~0.1mmの世界最薄レベルの中間基材である「薄層プリプレグシート」を作ることができます。このシートによる新しい複合材料は、従来のものと比べて壊れにくく、軽量化による省エネの需要から、航空機、自動車などの輸送用機器への適用が期待されています。



開織技術を用いた
炭素繊維薄層プリプレグシート

3D試作センター活用事例 -金属3Dプリンタを活用した眼鏡金型設計-

3D試作センターでは、3Dを活用したものづくり全般(3次元によるデザイン・設計、形状測定、解析、加工)を支援しています。

金属3Dプリンタを活用した支援では、金属3Dプリンタのデメリットである製作コストと反りを改善した樹脂製眼鏡金型製造技術の開発を県内企業と行いました。樹脂眼鏡フレームの生産コストは同等ですが、生産性を2割以上向上できます。



金属3Dプリンタ

開発した金型と射出成形した眼鏡フレーム

◇お問い合わせ◇

- 〒910-0102
福井市川合鷺塚町61字北稻田10
- TEL/0776-55-0664
- FAX/0776-55-0665
- E-mail/kougi@pref.fukui.lg.jp
- <https://www.fklab.fukui.fukui.jp/kougi/>



◇交通のご案内◇

- 電車をご利用の場合
 - ・ハピラインふくい春江駅から徒歩約25分
 - ・JR福井駅下車：路線バス約25分
京福バス エンゼルランド線、
運転者教育センター線 つくしの団地下車
徒歩3分
- お車ご利用の場合／北陸自動車道
 - ・福井北IC下車 約10km 約25分
 - ・丸岡IC下車 約8km 約20分



産業技術連携推進会議（産技連） 東海・北陸地域部会



産業技術連携推進会議（産技連）は、公設試験研究機関（公設試）等と国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）が連携して、我が国の産業の発展に貢献することを目的とする組織です。会員機関相互の連携により、試験研究に関わる技術力を高めるとともに、地域企業の支援を推進して、地域におけるイノベーション創出へつなげていくことを使命とします。

産技連URL : <https://regcol.aist.go.jp/sgr/>

産技連の構成

産技連は、企画調整委員会、技術部会、地域産技連、地域部会から構成されています。中部地域には、東海北陸地域産技連、および、**東海・北陸地域部会**が設置されています。産技連（全国）の事務局は以下の通りです。

【産業技術連携推進会議 事務局】

経済産業省

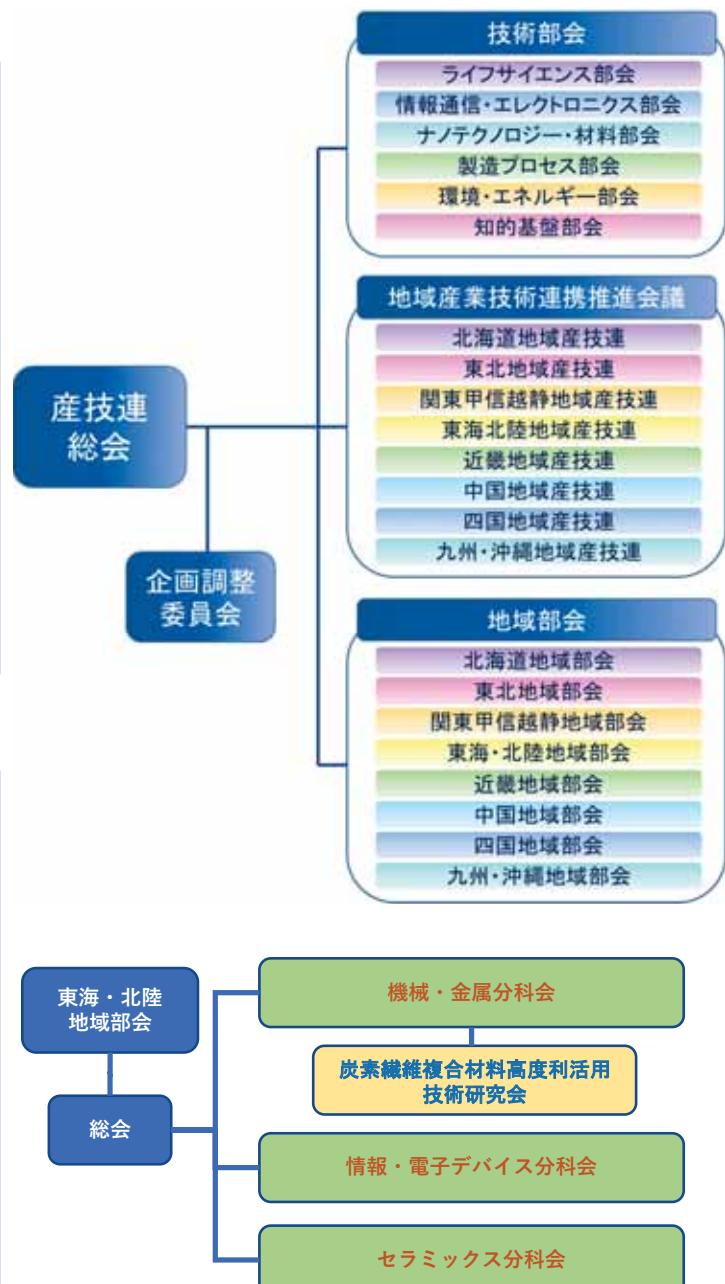
- ・イノベーション・環境局
総務課 産業技術法人室
- ・経済産業政策局
地域経済産業政策課

中小企業庁

- ・経営支援部 技術・経営革新室

国立研究開発法人産業技術総合研究所

- ・研究戦略本部 地域部 地域戦略企画室



東海・北陸地域部会の概要

産総研中部センターが事務局となり、中部地域における社会課題の解決、中堅・中小企業への支援・橋渡し等の活動を展開します。また、産総研と各公設試相互間で課題と情報を共有し連携を強化します。

2025年度は東海・北陸地域部会総会を7/2（水）にミッドランドホール会議室Aで開催しました。総会では、各機関から活動報告、活動方針について報告し、情報共有、意見交換を積極的に行ってています。

また、地域部会は3つの分科会および1つの研究会を有しています（右図参照）。

これらの分科会・研究会では、参画機関の連携により、専門的な議論や年度を超えた継続的な活動を行っています。分科会・研究会活動の活性化を通じて、重要なテーマについて研究活動の基盤強化を進めています。さらに、新規テーマについて、分科会・研究会設立などの展開を図ります。

東海・北陸地域部会

会長：産業技術総合研究所中部センター所長
副部会長：あいち産業科学技術総合センター所長

東海・北陸地域部会URL : <https://www.aist.go.jp/chubu/ja/collabo/sangiren/sangiren.html>

研修、セミナー等の連携活動事例

中部地域公設試若手研究者合同研修

中部センター独自の取り組みとして、2009年度より中部地域公設試若手研究者合同研修を開催しています。2020～2021年度は、コロナ禍の影響を鑑み開催を見合わせました。2022年度は、3年ぶりに再開し、2023、2024年度もリアル開催しました。あわせて「MPI プラットフォーム見学会」を実施しています。今年度も本研修の実施を予定しています。

【目的】：

主に中部地域の公設試の若手研究者・職員を対象とし、①将来、研究活動・技術開発、技術指導、地域貢献を進めていく上で必要な基礎的な知識・スキルを身に付けるとともに、②実際の現場に触れるにより、課題を自ら抽出し、研究・支援活動、イノベーション創出に反映させていくこと、並びに、③若手研究者等の組織を超えた人的ネットワークの形成を図ります。

【中部地域公設試験研究機関活用ガイド】

産技連東海・北陸地域部会に所属されている公設試の情報を一冊にまとめ、中部地域公設試験研究機関活用ガイド（本誌）として、配布しています。地域企業と公設試、公設試間、産総研との連携の参考資料としてご活用いただけます。右図は昨年度のものです。

【地域産業活性化人材交流事業】

本事業は、産総研研究者と公設試職員が共同で地域課題の解決を目指す研究活動を支援するものです。公設試の方の研究活動を産総研で実施するための旅費等を補助します。

【産総研連携アドバイザーの委嘱】

産技連のネットワークを通じて、公設試の方を産総研地域連携アドバイザーに委嘱しています。この制度を活用して、より密接な連携活動を行っていただいている。

2024年度 研修内容：

中部センターの概要およびMPI プラットフォームセラミックス・合金拠点（中部センター）での取り組みについて、セミナー開催しました。また、中部センターのMPI プラットフォーム施設見学会を実施しました。

○オリエンテーション

○所長セミナー

- ・産総研中部センターの概要について
- ・MPI プラットフォームセラミックス・合金拠点での取り組み
- 施設見学（MPI プラットフォーム等）
- 質疑応答・意見交換、交流会

中部地域公設試験研究機関 活用ガイド2024～2025

現場での小さな困りごとから、
製品開発、補助金獲得、新技術のご相談など

まずは『公設試』にご相談ください。

産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会

本誌のバックナンバーをご要望の場合は
事務局あてにお問い合わせください。

お問い合わせ

東海・北陸地域部会事務局（産総研中部センター産学官連携推進室）

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

E-mail: sangi_toukai_jimukyoku-ml@aist.go.jp



産業技術連携推進会議（産技連） 東海・北陸地域部会

機械・金属分科会

令和7年度（2025年度）活動の目的（基本方針）

東海北陸地域における機械金属工業関連公設試験研究機関および中部経済産業局、産業技術総合研究所中部センターとの情報交換、相互理解を進め、広域的な連携のあり方や特有の課題について検討し、参画機関の連携を強化するとともに、地域の機械金属関連産業の発展に貢献する。

令和6年度（2024年度）活動報告

（担当機関：名古屋市工業研究所）

2024年度 機械・金属分科会（開催日：2024年10月31日（木）～11月1日（金））

①活動報告

- ・中部経済産業局からの話題提供
- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所からの報告
(北陸デジタルものづくりセンター、中部センター)
- ・各機関からの現状報告(情報交換)
- ・各機関からの提案事項(産技連への要望・協議事項について意見交換)

②関連研究会活動報告(分科会同時開催)

- ・炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会

③研究事例発表(分科会同時開催)

- ・研究事例発表(石川県工業試験場、岐阜県産業技術総合センター、三重県工業研究所)

④企業見学会

- ・見学先：NTNアドバンストマテリアルズ株式会社 本社・蟹江工場
(愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字勝田場101番地)
- ・見学内容：軸受等粉末冶金部品の製造工程、含油工程、検査工程など

令和7年度（2025年度）活動方針・計画案

（担当機関：富山県産業技術研究開発センター）

分科会の開催により、各機関の課題解決への取り組みや機械・金属分野に関する事例発表、討議を行うことで、各機関の相互理解を深める。特に、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルへの取り組み等に関して、情報共有を図る。

日程：2025年11月27日（木）～11月28日（金）

開催方法：対面開催

内容：活動報告、関連研究会活動報告、研究事例発表、企業見学会

参画機関、連携機関

経済産業省中部経済産業局、産業技術総合研究所、あいち産業科学技術総合センター、岐阜県産業技術総合センター、三重県工業研究所、富山県産業技術研究開発センター、石川県工業試験場、静岡県工業技術研究所、名古屋市工業研究所 計9機関

産業技術連携推進会議（産技連） 東海・北陸地域部会

炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会

令和7年度（2025年度）活動の目的（基本方針）

炭素繊維複合材料（CFRP）の利活用に取り組む各地域の企業が有している課題について、各公設試の保有する技術や機器設備を活用した解決法を探り、研究会員による一貫した企業支援を行う。

令和6年度（2024年度）活動報告

（担当機関：名古屋市工業研究所 環境・有機材料研究室）

●2024年度コンポジットハイウェイコンソーシアム全体会議

2024年5月16日（木）10:00～ オンライン開催

コンポジットハイウェイコンソーシアムの活動に関する意見交換

●コンポジットハイウェイコンベンション2024

2025年1月16日（木）13:00～19:00

石川県地場産業振興センター 本館 大ホール

コンベンションへの参加、本研究会および各公設試のポスター展示

●産技連 炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会 開催

2025年2月5日（水）14時～15時10分 オンライン 9機関20名

事例紹介：あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター

機器紹介：名古屋市工業研究所

その他：炭素繊維束引張試験のラウンドロビンテストについて

産業技術総合研究所 中部センター

令和7年度（2025年度）活動方針・計画案

（担当機関：静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター 繊維高分子材料科）

炭素繊維複合材料（CFRP）の利活用に取り組む各地域の企業が有している課題について、各公設試の保有する技術や機器設備を活用した解決法を探り、研究会員による一貫した企業支援を行う。

●研究会の開催（年1回）

●コンポジットハイウェイコンソーシアムとの連携活動

・全体会議参加

・コンポジットハイウェイコンベンション2025への展示参加

●産総研 炭素繊維束引張試験のラウンドロビンテストの継続

参画機関、連携機関

9機関

①富山県産業技術研究開発センター

②三重県工業研究所

③石川県工業試験場

④あいち産業科学技術総合センター

⑤岐阜県産業技術総合センター

⑥福井県工業技術センター

⑦名古屋市工業研究所

⑧静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター

⑨産業技術総合研究所

産業技術連携推進会議（産技連） 東海・北陸地域部会

情報・電子デバイス分科会

令和7年度（2025年度）活動の目的（基本方針）

東海・北陸地域における情報・電子工業関連公設試験研究機関、中部経済産業局、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センターの情報交換、相互理解を深め、広域的な連携のあり方や特有の課題について検討し、参画機関の連携を強化するとともに、地域の情報・電子関連産業の発展に貢献する。

令和6年度（2024年度）活動報告

（担当機関：富山県産業技術研究開発センター機械電子研究所）

分科会を開催し、今般の情勢を受けた参画機関の現状等についての討議、情報共有等により参画機関の相互理解を深め、今後の広域的な連携につなげる取組みを行った。

開催した会議など

令和6年度 産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会 情報・電子デバイス分科会

日時：令和6年12月4日（水）14時00分から16時30分まで

場所：富山県民会館502号室（富山県富山市新総曲輪4番18号）

担当：富山県産業技術研究開発センター 機械電子研究所（富山県富山市高田383番地）

参加機関：中部経済産業局、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター、産業技術総合研究所北陸デジタルものづくりセンター、岐阜県産業技術総合センター、三重県工業研究所、石川県工業試験場、名古屋市工業研究所（欠席）、静岡県工業技術研究所（欠席）、富山県産業技術研究開発センター（事務局）

（以上7機関参加、2機関欠席）

内容：報告事項、研究事例、技術支援事業等の発表及び討議

会議要旨：

（1）報告事項

- ①中部経済産業局からの話題提供
- ②産業技術総合研究所からの報告
- ③参加機関の現況報告（5機関）

（2）研究発表・事例発表

参画機関からの研究開発事例、技術支援事例等の発表及び討議

令和7年度（2025年度）活動方針・計画案

（担当機関：静岡県工業技術研究所）

下記のとおり分科会を開催し、今般の情勢を受けた参画機関の現状等についての討議、情報共有等により参画機関の相互理解を深め、今後の広域的な連携につなげる取組みを行う。

○令和7年度 産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会 情報・電子デバイス分科会

日時：令和7年12月9日（火）13時15分から15時45分まで

開催方法：対面式での開催（静岡県工業技術研究所：IoT研修室）

内容：報告事項、研究事例、技術支援事業、話題提供の発表及び討議

担当：静岡県工業技術研究所（静岡県静岡市葵区牧ヶ谷2078）

○課題解決のための活動計画など

今般、AIなどのデジタル技術やハードウェアのソフトウェアデファインド化などが急速に進み、さらに社会におけるDXの実装や製品開発におけるデジタルエンジニアリングの導入などに向けた動きが一層加速している。当地域においても情報・電子関連産業の発展のために、現状の課題抽出とこれらの技術等を活用した解決策の検討に向けて、参画機関相互の理解を深め、広域的な連携強化に努める。

参画機関、連携機関

中部経済産業局、産業技術総合研究所、名古屋市工業研究所、

岐阜県産業技術総合センター、三重県工業研究所、富山県産業技術研究開発センター

石川県工業試験場、静岡県工業技術研究所（計8機関）

産業技術連携推進会議（産技連） 東海・北陸地域部会

セラミックス分科会

令和7年度（2025年度）活動の目的（基本方針）

東海北陸地域におけるセラミックス関連公設試験研究機関、中部経済産業局及び産業技術総合研究所中部センターにおける情報交換、相互理解を深め、広域的な連携のあり方や特有の課題について検討し、参画機関の連携を強化するとともに、地域のセラミックス関連産業の発展に貢献する。

令和6年度（2024年度）活動報告

（担当機関：三重県工業研究所 烹業研究室）

ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会と合同開催

開催日時：令和6年10月10日（木）13:00～17:10

開催場所：ばんこの里会館

開催形式：ハイブリッド形式（対面およびWeb会議併催）

参加機関：16機関（産総研を含む）

参加人数：29名（その内公設試から22名。内オンライン参加は6名）

（協議事項）

（1）3Dプリンタ等の機器所有状況に関する調査提案（栃木県）

（2）東海・北陸地域部会セラミックス分科会の統合提案（石川県）

ナノテク・材料部会との統合、あるいは近畿地域部会との共催を提案

各地域の事情（経産局の区分など）や部会の了承などが課題

（3）烹業分野の研修体制強化（愛知県瀬戸）

技術継承のため、公設試機関間や産総研との連携による広域研修を検討

予算措置や地域イノベ事業等を活用した人材育成の方向性を議論

（4）産技連独自の広域連携研究事業の予算化（復活）（三重県）

烹業技術者育成や公設試間連携を含む予算化の必要性を指摘

（報告事項）

（1）産業技術連携推進会議の役割（産総研）

（2）令和5年度 担当者会議報告（愛知県）

（3）各機関の現状報告（全国16機関）

・地域産業支援活動、セミナー開催、研究開発状況

・地震や原料不足による影響（例：能登地震、萩焼粘土枯渇）

・インバウンド復活や地場産業イベントの動向

・新設備導入、業界再編や事業縮小、移転などの現状共有

（4）地域分科会活動報告

・東海・北陸、近畿、九州・沖縄地域部会の活動状況を報告

・東海・北陸と近畿地域部会の相互のオブザーバー参加や、研究会の報告

・次年度の東海・北陸地域部会は石川県が担当機関

令和7年度（2025年度）活動方針・計画案

（担当機関：石川県工業試験場）

東海北陸地域部会セラミックス分科会は、石川県工業試験場で開催予定

日時：令和7年11月7日（金）会議、場内DXセンター見学会

会場：石川県工業試験場（石川県金沢市鞍月2丁目1）

参画機関、連携機関

中部経済産業局、産業技術総合研究所、岐阜セラミックス研究所、

あいち産業科学技術総合センター（技術支援部/瀬戸烹業試験場、産業技術センター/常滑烹業試験場/三河烹業試験場）、三重県工業研究所/烹業研究室、石川県工業試験場（計6機関）他



国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター



[産総研中部センターについて]

産総研中部センターは、産総研の研究拠点の一つです。ものづくり産業の集積地である中部地域において、「機能部材」技術を核に「材料系ものづくりの総合的な研究拠点」を目指しています。研究を実施する研究ユニットとして、マルチマテリアル研究部門を設置し、約100名の研究者が日々、研究活動に従事しています。また、パートナー企業名を冠した連携研究室として日本特殊陶業－産総研カーボンニュートラル先進無機材料連携研究ラボが配置されています。



中部センター
〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地



技術相談や連携についてのご案内

[技術相談へのお問い合わせ]

中部センターでは、オール産総研のシーズ、特に材料・化学に関する研究開発のシーズをもとに、この地域の企業の皆様のニーズに応える連携のハブとして積極的に活動しています。製品開発などにおける技術的な課題について、中部センター公式ホームページの技術相談フォームからお問い合わせいただけます。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。
https://www.aist.go.jp/chubu/ja/collabo/consultation_form.html

わたしたちにできること

製造過程での お困りごと相談

「環境対策」「歩留まり改善」など…
中部センターをはじめ、3000人の研究者が力になります！



今ある技術を より良いものに

「開発期間の短縮」「性能アップ」など…
さらなる高みを目指すためのアドバイスができます。



研究開発を 一緒に進める

専門知識を活用した科学的裏付けのある技術開発を実施できます。
また、先端性能を持つ装置や国内唯一の装置を利用できます！

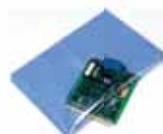


連携事例

高松油蔴株式会社

粘土鉱物を利用した 高耐水性帯電防止コーティング剤

粘土鉱物の耐水性と帯電防止性能はトレードオフの関係がありますが、これらを両立させることが大きな課題でした。産研が提案の特殊合成粘土と架橋剤を組み合わせることで両立を可能にしました。今後も粘土鉱物の特性を活かした製品開発を行っていきます。



日本メナード化粧品株式会社／三信鉱工株式会社／株式会社ナノシーズ 粉末化粧料の光学・機械的・ 薬剤放出特性向上

化粧品開発は、会社ごとに独自の秘方ノウハウが多いため、当初は連携に消極的でした。しかし連携の結果、商品開発におけるニーズをもとに、①産総研のシーズ ②連携体制による独自原料の開発実験と試作 ③三信鉱工(株)による原料生産 ④(株)ナノシーズの協力による独自原料配合の化粧品使用感評価 という川上から川下までの一貫した研究開発ができるようになりました。



<その他の連携事例>

- ・木材の流動成形による「竹のスピーカー振動板」(チヨダ工業株式会社)
- ・耐酸化性WC-FeAl超硬合金の開発(株式会社ノトアロイ)
- ・燃料電池用水素デリバリASSYの開発(愛三工業株式会社)



詳細はこちら

産総研では各種プログラムであなたの会社をサポートします！



まずはこちらから！

■技術相談

https://www.aist.go.jp/chubu/ja/collabo/consultation_form.html

- 共創型コンサルティング
- 技術コンサルティング
- 共同研究
- 公的資金

マテリアル・プロセスイノベーション(MPI)プラットフォーム

セラミックス・金属材料開発におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援

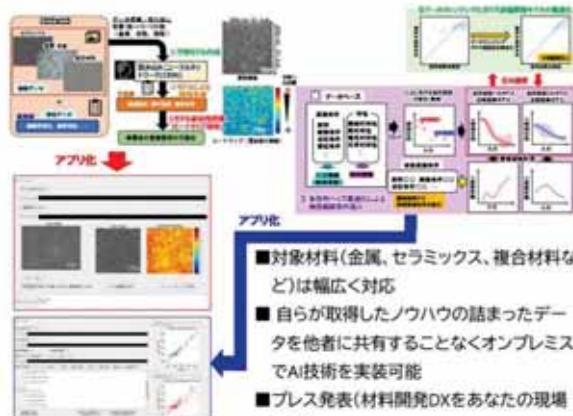
概要

データ駆動型研究開発の支援に向けて、セラミックスや合金等の製造プロセスと構造、物性情報を一連のデータセットとして取得するための約90の装置群を整備しました。製品開発に必要な原料の調整から成形、焼成、試作ならびに評価まで、一貫したプロセスチェーンをお試しいただけます。また、個々の装置利用による開発支援も行っており、製造プロセスの困りごと等、様々なニーズにもお応えします。



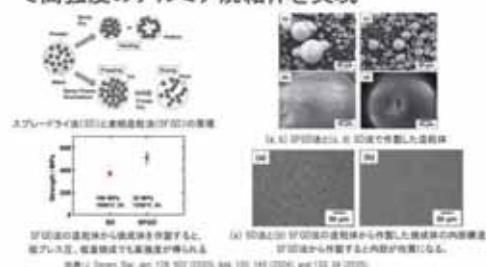
■プロセスインフォマティクス活用事例

- ✓ 画像から特性予測＆最適実験条件を提案するアプリを開発

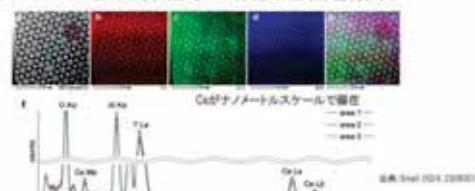


■個々の装置の活用事例

- ✓ 凍結造粒により、低い成型圧力や焼成温度で高強度のアルミニウム焼結体を実現



- ✓ In-Situ STEM観察により、高温環境下におけるYAG:Ce蛍光体粒子の成長過程を解明



装置の活用事例一覧

上記装置の活用事例一覧は[こちら](https://unit.aist.go.jp/dmc/platform/MPI/bases/nagoya.html)をご覧ください。
URL <https://unit.aist.go.jp/dmc/platform/MPI/bases/nagoya.html>



マテリアル・プロセスイノベーション
プラットフォーム
Materials Process Innovation Platform



産総研 材料・化学領域
MPIプラットフォーム セラミックス・合金拠点
連絡先：技術相談ML (M-chubu-counselors-ml@aist.go.jp)

産総研
ともに挑む。つぎを創る。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北陸デジタルものづくりセンター



[産総研北陸デジタルものづくりセンターについて]

北陸デジタルものづくりセンター（以下、北陸センター）は、産総研の12番目の研究拠点として2023年5月21日に福井県坂井市に開所しました。北陸地域のイノベーションを促進するために、幅広い分野の研究を行う産総研の強みを活かしながら企業や大学、公設試験研究機関等と連携し、デジタル技術の活用により北陸地域の主要産業である金属加工業や繊維産業などの付加価値を高める挑戦的なものづくり技術の開発を行います。

北陸センターにはスマートテキスタイル共創研究グループ、3D造形研究チーム、空のカーボンニュートラル先進複合材料連携研究ラボがあり、北陸地域の特徴を生かした3つの研究テーマ（①スマートテキスタイルによる高機能性衣類の開発、②3Dプリンタによる金属加工技術・加工品の評価技術の開発、③CFRPコンポジット材料の製造プロセスの開発）に取組みます。



これらの研究テーマを進めるとともに、北陸地域におけるさまざまな課題に対してオール産総研で対応していくために、全国の研究拠点をつなぐ連携ハブとなり、北陸地域におけるイノベーション創出を目指します。



北陸センターのアウトカム

- “ものづくり×デザイン”によるモノ売りからサービス売りのビジネス転換
- 「ものづくり産業」から「価値づくり産業」への進化

北陸センターのアウトプット

- スマートテキスタイルなどデジタルものづくり技術による繊維産業の高付加価値化・サービス化
- 金属3Dプリンタ、形状計測、DX技術を活用する加工技術の高精度、高効率化
- 空のカーボンニュートラルの実現に向けた先進複合材料のさらなる高度化

北陸センターの実施内容

高付加価値化・サービス化



<北陸デジタルものづくりセンター>

〒919-0462 福井県坂井市春江町江留上大和10番2
連絡先：M-info-hokuriku-ml@aist.go.jp

[研究テーマ]

①スマートテキスタイルによる高機能性衣類の開発

(人間社会拡張研究部門 スマートテキスタイル共創研究グループ)

- 産総研の持つ導電性材料等の編成技術や印刷技術を活用し、姿勢や動作、呼吸・心拍数を計測する機能等を有する繊維・布地・シート・衣類の研究開発を実施
- 運動計測や生理計測などを実施し、妥当性・有用性を検証することで、つくり手とユーザーが体験価値を共創するスマートテキスタイルの社会実装を目指す

ウェアラブルデバイスのスマート化



スマートテキスタイル技術
布上に印刷成形した歪みや
圧力センサおよび導電糸による
配線や電極形成技術



運動・生理計測
全身姿勢、発熱、発汗、
生理指標、筋活動量など
の計測・推定

様々な計測機能（例えば姿勢や動作、呼吸・心拍数など）を有する繊維製品の開発

②デジタルものづくりを加速する金属3D造形技術の研究開発

(次世代ものづくり実装研究センター 3D造形評価研究チーム)

- オンデマンド性に優れた金属3D造形技術の研究開発を行い、設計・製造・評価により構成されるものづくりプロセスチェーンの高度化を目指す
- 3D造形技術が持つ複雑形状の加工能力を引き出し、製品機能を最大限に高めることができる最適設計ツールを開発する
- 産総研が持つ計量標準の技術に基づいた、高精度な造形物評価を実践する

設計・製造・評価をつなぐものづくりプロセスチェーン



産技連の 技術相談ワンストップサービス



公設試に相談すると、ワンストップで産総研にも！

産技連では公設試に寄せられた相談のうち、公設試や地域ネットワーク等で解決が難しい高度な技術相談を産総研に設置した「産技連ワンストップ全国相談窓口」へつなぐサービスを2023年2月に開始しました。

地域の企業の皆さんをネットワークでサポートします

産総研の持つ研究開発力や技術シーズがお役に立つかかもしれません。

よりシームレスにつながります

産総研に相談するのに、改めて産総研の窓口へ来ていただく必要はなく、ご相談された公設試が産総研の専用窓口へおつなぎします。

もちろん秘密は守ります

公設試から産総研につなぐ場合には、必ず事前に承諾をいただきます。



*1 公設試とは都道府県等の公設試験研究機関（○○県産業技術センター等）の総称・略称です。本ワンストップサービスは全国の公設試と産総研が参加するネットワーク“産技連”に加盟する公設試のみのサービスです。

*2 産総研につなぐ場合は、事前にご相談された方のご承諾をいただきます。



産総研コンソーシアム 事業紹介：名古屋工業技術協会



産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会は
製造技術、プロセス技術、先進材料技術、環境技術等に関する
情報収集、調査、広報、プロジェクト提案、ニーズシーズマッチングを行い
ものづくりに関わる産業界の発展に貢献しています。

事業内容

1 セミナー開催

年2回程度企画

2 見学会の開催

年1回見学会を予定

3 特別講演会の開催

年1回程度の講演会

4 公開前特許情報の開示

新規出願特許（単願）の概要を開示

5 情報提供

研究成果の提供、最新研究の紹介、イベントの開催案内等

入会案内

入会について

年会費

● (一口につき)

法人会員：2万円、個人会員：5千円

申込受付

● 随時（事務局までご連絡ください）

組織



会員特典

会員専用ページ又はメルマガで提供を受けることが可能です。

- セミナーへの参加（同一組織から何名でも参加可能、過去の配布資料がダウンロード可能）
- 見学会への参加（同一組織から何名でも参加可能）
- 公開前特許概要（出願から5ヶ月程度経過した中部センター所属ユニットからの新規出願特許（産総研単願）の概要が約2ヶ月毎に閲覧できます）
- 技術相談（優先対応）
- プレス発表、公募・補助金情報の入手（発表情報、更新情報をメルマガで提供）
- 研究カタログ、各種パンフレット等の送付を受ける。
- セミナーのリクエストが可能

産総研コンソーシアム
名古屋工業技術協会

https://unit.aist.go.jp/chubu/conso_2/nkg/index.html

〒463-8560

名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

国立行政法人産業技術総合研究所

中部センター産学官連携推進室 内

Tel. 052-736-7370

E-mail. M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp

公設試機器・設備検索システム

経済産業省の「全国鉱工業公設試験研究機関保有機器・研究者情報検索システム」から公設試が保有する様々な機器・設備を検索することができます。公設試の機器・設備をお探しの方は是非ご活用ください。

<https://www.meti.go.jp/kousetsushi/top>



本システムでは全国の公設試のウェブサイトで公開されている保有機器または研究者情報を検索・閲覧できます。各公設試サイトから定期的にプログラムによる自動収集を行い、最新の収集結果をデータベースに保持しております。

「保有機器を探す」検索フォームでは、フリーワード、分野、目的、都道府県について条件指定を行うことができます。一部の機器等は企業の皆様に開放しております、ご自身で操作いただけます。装置の選定、操作方法、取得したデータの解釈など、必要な技術サポートは専門研究員が支援いたします。使ってみたい機器が見つかりましたら、まずは公設試までご連絡ください。

保有機器を探す

フリーワード検索

都道府県を限定する

分野を選択する

目的を選択する

都道府県を選択する

分野

目的

都道府県

上記の条件で検索する

東海北陸地域部会中部地域公設試研究機関リスト

■ 愛知県

- ・ あいち産業科学技術総合センター 本部
〒 470-0356 豊田市八草町秋合1267-1
☎ 0561-76-8301
- ・ あいち産業科学技術総合センター 瀬戸窯業試験場
〒 470-0356 豊田市八草町秋合1267-1
☎ 0561-21-2116
- ・ あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
〒 448-0013 刈谷市恩田町一丁目157番地1
☎ 0566-24-1841
- ・ あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 常滑窯業試験場
〒 479-0021 常滑市大曾町4-50
☎ 0569-35-5151
- ・ あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 三河窯業試験場
〒 447-0861 碧南市六軒町2-15
☎ 0566-41-0410
- ・ あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター
〒 451-0083 名古屋市西区新福寺町2丁目1番の1
☎ 052-325-8091
- ・ あいち産業科学技術総合センター 尾張織維技術センター
〒 491-0931 一宮市大和町馬引字宮浦35
☎ 0586-45-7871
- ・ あいち産業科学技術総合センター 三河織維技術センター
〒 443-0013 蒲郡市大塚町伊賀久保109
☎ 0533-59-7146

■ 名古屋市

- ・ 名古屋市工業研究所
〒 456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
☎ 052-661-3161

■ 岐阜県

- ・ 岐阜県産業技術総合センター
〒 501-3265 関市小瀬1288
☎ 0575-22-0147
- ・ 岐阜県食品科学研究所
〒 501-1112 岐阜市柳戸1-1
☎ 058-201-2360
- ・ 岐阜県セラミックス研究所
〒 507-0811 多治見市星ヶ台3-11
☎ 0572-22-5381
- ・ 岐阜県生活技術研究所
〒 506-0058 高山市山田町1554
☎ 0577-33-5252

■ 瑞浪市

- ・ 瑞浪市窯業技術研究所
〒 509-6122 岐阜県瑞浪市上平町5丁目5番地の1
☎ 0572-67-2427

■ 多治見市

- ・ 多治見市陶磁器意匠研究所
〒 507-0803 岐阜県多治見市美坂町2丁目77番地
☎ 0572-22-4731

●産業技術連携推進会議（産技連）の紹介

産技連とは、全国の公設試と国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）が連携して、日本の産業の発展に貢献することを目的とした組織です。相互連携を通して、各々の試験・研究に関わる技術力を高めるとともに、地域企業を支援しイノベーションを創出していくことを使命としています。

■ 三重県

- ・ 三重県工業研究所
〒 514-0819 津市高茶屋5丁目5番45号
☎ 059-234-4036

■ 静岡県

- ・ 静岡県工業技術研究所
〒 421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078
☎ 054-278-3002
- ・ 静岡県工業技術研究所 沼津工業技術支援センター
〒 410-0022 沼津市大岡3981-1
☎ 055-925-1100
- ・ 静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター
〒 417-8550 富士市大渕2590-1
☎ 0545-35-5190
- ・ 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
〒 431-2103 浜松市北区新都田一丁目3番3号
☎ 053-428-4152

■ 長野県

- ・ 長野県工業技術総合センター
〒 380-0928 長野市若里1-18-1
☎ 026-268-0602

■ 富山県

- ・ 富山県産業技術研究開発センター
〒 933-0981 高岡市二上町150
☎ 0766-21-2121
- ・ 富山県農林水産総合技術センター木材研究所
〒 939-0311 射水市黒河新4940
☎ 0766-56-2915
- ・ 富山県総合デザインセンター
〒 933-1119 高岡市オフィスパーク5番地
☎ 0766-62-0510

■ 石川県

- ・ 石川県工業試験場
〒 920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地
☎ 076-267-8081

■ 福井県

- ・ 福井県工業技術センター
〒 910-0102 福井市川合鶯塚町61字北稻田10
☎ 0776-55-0664

■ 国立研究開発法人産業技術総合研究所

- ・ 中部センター
〒 463-8560 愛知県名古屋市守山区桜坂四丁目205番地
☎ 052-736-7000
- ・ 北陸デジタルものづくりセンター
〒 919-0462 福井県坂井市春江町江留上大和10-2
☎ 072-751-8693
- ・ 研究戦略本部 地域部 地域戦略企画室
〒 305-8560 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央事業所
つくば本部・情報技術共同研究棟
☎ 029-861-2000



中部地域公設試験研究機関活用ガイド2025～2026

令和7年10月発行

発行・製作 産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会